京城日報
五日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

# 歐洲大戰亂

## ▲モナスチール陷落

サロニカ來電に據れば獨墺軍は二日午後モナスチールに入れり塞軍は國境を越えて希臘領土内に侵入しつゝあり（紐育電報）

## ▲佛國國民軍總司令官

巴里來電＝ヂョッフル元帥は佛蘭西の國民軍の總司令官に任命せられたり此の國民軍は範圍頗る浩汎にして巴爾幹に在る佛國軍隊をも包含し實に植民省の管轄に屬する者の外一切の佛國軍隊を網羅するものなり（紐育電報）

## ◎大觀艦式勅語

四日特別大觀艦式に賜はりたる勅語左の如し（東京特電）

勅語

朕即位ノ大禮ヲ畢リ茲ニ親シク觀艦ノ式ヲ行ヒ帝國海軍ノ進歩顯著ナルヲ觀テ深ク之レヲ嘉ス今ヤ列國海軍ノ趨勢ハ汝等將卒ノ努力ニ待ツモノ尠カラス汝等倍々奮勵セヨ

## 雜報

### ◎大典籌備參加命令

北京政府は帝政實行に就き各地方に電報を發し大典籌備處參加員の上京を命じたるが奉天よりは張秘書代表として不日出發するに決定せり（奉天）

### ◎時局と三省警備

北京政府よりの訓電に國體變更延期の爲め亂黨の此間に乘じて到る處に軍民を煽惑し延いて内憂外患を惹起する事あるべきにより極力秩序を維持すべし東三省は特に日露兩國人雜居の地方なれば依りて外交の離局を醸成せしむる勿れとありしを以て段上將軍は右に接手すると同時に王子梧、劉鳴江、蕭忠信、曹安全を安東、營口、長春、大連、哈爾賓等に派遣し形勢の密察を爲さしめつゝあり（奉天）

### ◎段將軍要政上陳

鎭安上將軍段芝貴氏は奉天著任以來屢々大總統に上陳して要政の改革を遂げんとしつゝあるが這回左の建議を大總統に呈し帝政實行上第一の急務なりとし其採用を請へりと（奉天）

一、奉天黑龍吉林の三省各要地を悉く國防要塞となす件
二、鎭安上將軍行署を長春に移す件
三、來年度に於て奉天吉林黑龍の三省に徵兵制度を施行する件
四、三省軍制を統一する件
五、東清及び内蒙路の各地に鎭守使設置の件
六、三省財政及び軍備擴張の件
七、奉天巡防遊擊巡緝の各隊を均しく陸軍に改編する件
八、奉天省に兵工廠を設立する件

### ◎中立と奉天禁令

段上將軍巡按使は曩にも嚴に管下に告諭して歐洲戰亂に對し中立を嚴守す可しといへるが三日復各地方官に對し馬糧となるべき紅粮、兵器たるべき木材、火藥の材料たるべき棉火の輸出を禁止すべしと電命せり（奉天）

### ◎鑛業出願と許可

本年一月より九月に至る九箇月間の鑛業出願は三百九十一件、砂鑛採取出願百二十二件、合計五百十三件にして前年同期の出願件數に比し鑛業に於て一件、砂鑛採取願に於て七十五件を增加したり、而して同期間内に許可したる件數は鑛業二百四十六件、砂鑛採取業四十七件、合計二百九十三件にして前年に比し鑛業に於て七十二件、砂鑛採取業に於て四件を增加せり、又九月末に於ける出願未處分件數は鑛業七百三十四件砂鑛採取業百三十一件、合計八百六十五件なり、因に大正三年末現在の既許可鑛區數は千百十八にして其内内地人に屬するもの七百三十、鮮人に屬するもの三百四十八、外國人に屬するもの四十なり、尚ほ操業鑛區の總鑛區數に對する割合は百分中二十七にして所屬鑛區に對する國人別操業率は外國人四十、朝鮮人二十六、内地人二十三を示せりと

### ◎仁川鹽の捌高 京元線劇增す

仁川驛より本年四月以降十月末日迄に京釜、京元、京義の各鐵道沿線各驛に發送されたる再製鹽及び原鹽數量を前年同期と對照比較するに

| 月別 | 本年發送高 | 前年發送高 |
|---|---|---|
| 四月 | 二、九八七噸 | 一、六一〇噸 |
| 五月 | 二、三九三 | 八九〇 |
| 六月 | 一、三一六 | 五〇二 |
| 七月 | 七一九 | 三八七 |
| 八月 | 三五七 | 七九八 |
| 九月 | 一、一〇四 | 一、四八四 |
| 十月 | 二、二四三 | 一、〇四〇 |
| 十一月 | 二、六六四 | 二、八二〇 |
| 合計 | 一三、五九三 | 一〇、四九一 |

前年に比し三千百餘噸の增加を示せり今本年度の發送高に就き之れが各沿線別を見るに京釜線五千八百餘噸京元線四千五百餘噸京義線三百噸にして京釜、京義兩沿線は前年の發送高と大差を見ざるも京元線に至りては前年同期間の發送高一千二百七十五噸に比し實に約三倍の增加を示せり之れ固より京元線開通の爲め從來海路釜山より元山方面に移入されつゝありしものゝ仁川より鐵路移入を仰ぐに至りたる結果たるや勿論なるも鐵原、議政府等への發送高に於ても前年に比し數倍の增加を示せるに徵すれば京元線開通と同時に當地同業者が同方面の販路擴張に競うて努力せる事も其の一因たるものゝ如し▲飜つて再製鹽及び原鹽の發送高割合を見るに逐年再製鹽需要增加の傾向を示しつゝあるが本年の如きは再製鹽八に對し原鹽二の割合を示せり之れ鮮人生活の向上しつゝある一端を窺知し得可し

### ◎逐鹿界の形勢

一級候補者の違算　二級候補者の混戰

京城日本人商業會議所なる時代遲れの看板は撤去され新たに京城商業會議所と肉太に書したる看板揭げられて茲に全く十二月四日前十時を以て半島商工業の死命を制す可き機關は確立するに至りたり慶す可き限り也

▲修正と其影響 今回の選擧期に對する多數の候補者は曩に創立委員の齎したる定款の草案が大體に於て認可指令後と雖も相違なきものと豫想し從つて運動方法を其に依つて計畫され居たるものなり然るに中途にして當局は選擧に關する條項に大修正を加へたるため最初一級の選擧有資格者は府營業稅二百圓以上を納むるものと定められ其資格者も三十九名ありしが四日發表の改正定款に於ては一躍四百圓以上に修正され資格者も僅に内地人十四名鮮人四名に減じたり即ち通運會社、朝郵、日本麥酒會社出張所等の如きものすら二級有權者となるに至りたり

▲一級は三十四票 是れが爲め一級を狙ひ居たる候補者は大なる違算を來し昨今大狼狽をなせる向も尠からず殊に僅々内鮮人合計十八名之れを票數に換算すれば三十六票（一級に限り二人連記なるため）の内有權者たる東洋拓殖會社は正副總裁共不在にて投票の資格なく自然棄權の外なきを以て剩す所は三十四票を三十八人内外の候補者が爭はんとする次第なり併しながら幸か不幸か二名の連記投票なるため自己の一票と他人の一票とを交換し得るの便宜もあれば最高と最低とは意外に懸隔す可く從つて運動の方法次第にて奏効を見るに至る可し

▲大方約束濟み 尤も第一、百三十、十八、漢城、韓一、京城、農工、商業、鮮銀等の各銀行は各種取引の關係上既に約束濟となり三越、京城電氣、共益社等亦既に先取特權を得たりと云へば最早一歩も切込む餘地は無かる可き形勢なり麥酒會社の林茂八郎氏の如きも漸く數日前内地より歸京したる位にて而かも自己は一級の資格なしとのことなれば多少苦戰を要することとなるべし二級は一級に比し候補者は更なり局外者と雖も一向に消息判然せず唯藤田米三郎、大和與次郎、深水清、藤廣吉、辻本嘉三郎六氏の新顏のみ注目され居れり尚ほ運送業者側より河村千次郎氏の立ちたるは近藤氏に取りて大打擊と云ふ可く鮮人側は東大門市場の崔根楠、中央集散場の崔萬奎の二氏少壯者なるだけに鼻息頗る荒し

### ◎選擧日時確定

京城商業會議所の議員選擧は十二月十五日午前九時より午後一時迄二級同午後二時半より四時迄一級の各評議員選擧を會議所樓上に於て行ふこととなり六日其々會員に公示する所ありたるが選擧人名簿は六日より十日迄毎日午前九時より四時迄會員の縱覽を許すべしと

### 人事消息

▲小宮三保松氏（李王職次官）四日午後歸任
▲小城齊氏（鐵道局技師）五日朝歸京
▲リチャード氏（支那稅務公司顧問）内地より五日朝通過北行
▲池邊吉氏（新任馬山府分監長）五日南大門驛出發赴任

### ◎大阪より

▲露國輸出稅撤廢運動 内地の蔬菜、果實業者は同國が今回實施することとなりたる浦鹽港の輸入品に對する戰時稅撤廢に關して運動を開始し現に其筋に對して同稅撤廢上の陳情書を提出したるが從來同地輸入課稅は凡て無稅なりしに目今蜜柑は一封度に付き一留六十哥、果物は同じく一留八十五哥又蔬菜は同三十五留の課稅を受くるに至り隨つて此等の輸出品は自然時價の昂上を促すの已むなきに至れるのみならず輸出上に頗る影響至大なるを以て當業者は非常の苦痛を感知し同時に輸出品量の減殺となり自然外國貿易に少なからざる關係を及ぼすべきものあるが爲めなりと

▲新糖處分決定 日糖對粗糖販賣聯合會の間には前週土曜日より明年度新糖處分案に對し交涉中なりしが日糖は希望條件を附して聯合會の提案に同意するに決定し聯合會は數日中總會を開き右希望條件を協議し之にて問題の處分案は全部決定發表するに至るべし

▲砂糖市價昂騰 粗糖處分と倉庫問題とを氣構へたる砂糖市場は一齊に景氣づき市價續いて昂騰しつゝあり二日の相場はニス、アール二十一圓八十錢を唱へにて其低値に比すれば既に一圓四十錢方の奔騰なるが更に昂騰の氣勢あり又分蜜糖の同日の相場は十六圓五十錢を告げて精糖以上の奔騰を示し而かも某會社の如き十七圓以下にては賣らずと主張しつゝありと

▲絹綿織物趨勢 内地一般織物界に於ける交織物は以來益々嗜好に適すると共に絹綿織物も亦之に隨伴して販路著しく開け目下各地方とも之が需要口を激增せしめつゝあるし結果自然其製織數量を增多せしめ從前の需要數量は年額約八九百萬圓なりしもの本年度の如き今日迄に需要されたる數量だけにても既に約一千萬圓に達したりと云ふ去れば本年内を通じて計算せば少くも約一千三百萬圓を超過せん模樣なりし折

### 南言北語

塞耳維を呑み潰した獨逸はイヤ彼の國は地圖上から抹殺すると考へはない黑山國と合併して一小王國とせうなんて虫の好い事を云つて居る▲勃牙利には土耳古をやらうと云ふ約束も出來て居る▲希臘がキッチナー元帥の居る間は協商側に傾いて居て居なくなると直ぐ居直りをするなんて處は矢ッ張り此の樣な事を聞いてピク〳〵するからだ▲獨逸は何處でも脅しが上手で惡が利くから何時も外交上に利益がある▲差し當り此の定九郎奴を二ツ九でやつ付ける勘平の役目はキッチナー元帥だが▲猪計り狩り出しに奔走して居るから何うもはかゞ〳〵しくない何うしても勘平さん御自身で出掛けねば定九郎は討てぬ▲亞米利加の獨探は火藥庫を頻りに爆發させて居たが其れでも物足らぬものと見えウヰルソン大統領と陸軍卿ガソリン氏を燒き殺さうとして居た▲而かも化學の藥品で燒き殺すなんて活動寫眞見たいで却々御念入りだ蓋し陸軍卿丈けはガソリン丸斯で燒けるかも知れないお名前から耐だからナ▲之れ正に前代未聞だと云へばお隣の革命黨連中には成る程之れは好い藥だとうらやんで居るものもあらう▲墨國で橫車を押して持て餘されて居たヴヰラ將軍も愈々斷末魔が近よつたので▲ヤケッ腹を立て、最後の活動に米國に侵入して手並の程を見せてやらうとして居るらしい▲獨探には燒き殺されようとするしヴヰラは侵入して來ると云ふしウヰルソン大統領は大分年回りが惡い樣だ▲之れこそ化學の藥を浴せかけてやるがよい新婚の奧樣は嘸々御心配の事で御坐らう▲政府與黨は妙に歪みあつて來たから議會に於ける連鎖が圓滿に行くのかと之れも内閣で心配して居るのだらう▲が、在野聯合軍も存外頭株が熱して居らぬ樣だから陣笠の搖將では騷ぐ計りだ▲而し七日の議會開會劈頭には石井外相に向けて巨彈を飛ばす位な空模樣だ

公示第三號

大正四年十二月六日ヨリ同月十日迄五日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄本會議所ニ於テ選擧人名簿ヲ縱覽ニ供ス

同人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ其理由書及證憑ヲ具シ本會議所ニ申立ツヘシ

大正四年十二月五日

京城商業會議所設立發起人

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社 寫眞製版部

## 第十一期營業報告書

貸借對照表（自大正四年五月一日至同年十月三十一日）

| 資産 | |
|---|---|
| 諸商品及貯藏品 | 四參〇、八參八、七參九 |
| 積送品 | 壹八七、八武〇、五七參 |
| 諸貸金 | 壹壹六、參六七、五四八 |
| 預ケ金 | 四壹、五壹六、四壹七 |
| 受取手形 | 壹壹六、九七九、壹九〇 |
| 假出金 | 武壹、八四壹、四壹參 |
| 他店へ貸 | 五五五、〇七參、參六九 |
| 有價證券 | 五〇、七武九、壹〇〇 |
| 地所建物器械什器 | 四八九、〇壹〇、壹六〇 |
| 拂込未濟資本金 | 武武五、〇〇〇、〇〇〇 |
| 特許權 | 武、〇〇〇、〇〇〇 |
| 未達勘定 | 八、武〇七、九武五 |
| 金銀 | 壹九、四壹〇、壹武七 |
| 合計 | 武、武六四、七九四、五六壹 |

| 負債 | |
|---|---|
| 諸借入金及當座借越 | 七壹四、四〇四、八武武 |
| 假收入 | 壹壹、九六〇、武壹〇 |
| 運賃及步戻シ | 四、六〇壹、壹〇五 |
| 他店ヨリ借 | 八參、武四九、七四武 |
| 仕拂手形 | 壹五五、參參九、武壹〇 |
| 委托品 | 武、七參四、〇〇〇 |
| 抽籤準備金 | 武六七、參參〇 |
| 未仕切金 | 七、五壹四、五武〇 |
| 資本金 | 壹、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 諸積立金 | 武〇參、四〇〇、〇〇〇 |
| 仕拂未濟配當金 | 六壹七、八參九 |
| 職工賞與金 | 壹、八六壹、壹六〇 |
| 純益金 | 七八、八四四、六武參 |
| 合計 | 武、武六四、七九四、五六壹 |

| | |
|---|---|
| 當期總益金 | 四七四、壹五〇、七六七 |
| 前期繰越金 | 壹壹、八六六、壹九四 |
| 當期總損金 | 四〇七、壹七武、參參八 |
| 差引純益金 | 七八、八四四、六武參 |

利益金處分 內

| | |
|---|---|
| 積立金 | 五、〇〇〇、〇〇〇 |
| 別段積立金 | 壹〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 所有物償却及器械消却積立金 | 參、武〇〇、〇〇〇 |
| 使用人賞與金及重役交際費 | 六、〇〇〇、〇〇〇 |
| 職工賞與金 | 壹、五〇〇、〇〇〇 |
| 恩給基金 | 壹、武〇〇、〇〇〇 |
| 配當金 | 參八、七五〇、〇〇〇 |
| 後期繰越金 | 壹參、壹九四、六武參 |

右之通リニ候也
大正四年十月三十一日
高知縣伊野町

## ㊀土佐紙株式會社

取締役社長 土居伊太郎
常務取締役兼營業部長 中内彌三郎
常務取締役 上田虎次
取締役兼高知支店長 中内久太郎
同兼旭支店長 國吉虎太郎
同兼防長支店監督 二階堂三郎左衛門
取締役 市川好廉
伊野支店長 森木恒之助
大阪支店長 中内松次
京城支店長 宇田龜吉
橫濱支店長 楠瀬嘉吉
監理部長 宇田龜代滿
監查役 奥田藤兵衛
同 井上作次郎
同 溝上與三郎

右監查候處相違無之候也

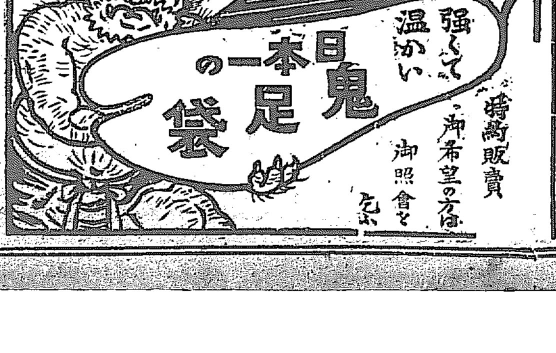
前期配當金舊株壹株ニ付武圓五拾錢新株壹株ニ付六拾武錢五厘十二月一日ヨリ御渡シ可致候

支店所在地
高知縣伊野町 伊野支店
同 土佐郡旭村 旭支店
高知市旭町 高知支店
大阪市西長堀北通三 大阪支店
橫濱市境町二 橫濱支店
山口縣玖珂郡和木村 藝備支店
京城府南大門通二 京城支店

太陽
十二月號
■大學論 …… 吉田博士
△希臘の態度と巴爾幹戰局 …… 長瀬鳳輔
△一九一二年の英獨協商に就て …… 長岡博士
△電氣化學工業晩近の趨勢 …… 寺尾興三
■英獨海上對抗の趨勢 …… 日高中佐
■國民黨（政黨史論）…… 覆面子
△裁判官の獨立と憲法上の理由 …… 清水博士
△刑事政策と微罪不檢擧 …… 大場博士
■戰後經濟界の景氣如何 …… 堀江博士
■日本の對世界政策 …… 浮田博士
■十八の娘（小說）…… 尾島菊子
△華冑政治家の色彩 …… 西灘漁郎
△海軍新進の人物 …… 滄浪漁史
■鏡心燈語（婦人界評論）…… 與謝野晶子
■批評家と『夜』と（對話）…… 木下杢太郎
△北武藏野 …… 田山花袋
△米國上流社會の心理的研究 …… 野口米次郎
△美術と貧乏（美術問題）…… 岩村透
■輝ける年の暮 …… 内田魯庵
東京本町 博文館 振替二四〇番

期節物廣告
○荒卷鮭○數之子棒鱈○鮭筋子○鰹節○味の素○諸罐詰○乾物類
右例年の通精良品充分取揃居候間何卒多少に不拘御用命願上候
○鰹節味の素は化粧箱各種取揃居候
○相場表は御一報次第御送付申上候
京城南大門市場
食料品問屋 辻本商店
電略（ツ）電話四七〇番（六四一番）
京城振替 貯金口座（三八番）

衛生經濟 兼備の逸品 是非一度御試し下さい
見本足金四十錢（郵稅不要）
發賣元 東京市日本橋區小傳馬町 寺田淳平商店
振替東京八三六七番 電話浪花三八〇〇番 二八〇〇番
特約販賣 御希望の方は御照會を乞ふ




眼科專門
京城本町六丁目（元軍司令部通り）
金井眼科醫院
院長 金井豐七
電話一五五六番

# ◎競うて棺を擔はんとす

## 部下に親の如く慕はるゝ故岡村技師　生前に準備した葬儀萬端の計畫

▲俺は仕事を爲乍ら死ぬのだ

故岡村技師の朝鮮鐵道に盡した功績は枚擧に暇なき有樣だが鴨綠江架橋の如きは其著しいもので其他京義京釜兩線の改良工事の如き總て同君の力によつてゐる更に現在朝鮮鐵道が他の線路に比して優良だと云ふ一般玄人の評のある如きは全く君が

▲平素奮鬪努力 した結果だと云ふも過言でない君は終始一貫活動を以て標的として鐵道の爲めに盡し今回の如きも去月下旬線路監査の爲め京義京元兩線を踏査し其爲めに異狀を來した身體を無理にも更に湖南線へ行かうとしてゐる處で遂に立つ能はざるに至つたのだが死して後にこそ止めもするが君が『俺は土方だ仕事をし乍ら死ぬのだ』と口癖の樣に言つてゐた其平素の理想通りな最後をした譯である君は精力絶倫自ら奮鬪するのみならず部下に對しても時に勵聲叱咤するが一面非常に溫情指導を怠らなかつた爲めに部下亦君の爲めに働くを快しとして居つた如何に部下に悼惜せられてゐたかの證據として今回葬儀に際し線路從事員自ら進で

▲其の棺を擔ひ 旗生花等を捧持したしとの申出の數餘りに多き爲め取捨に窮する仕末である誠に德望の高い人でなくては見難い事である君の邊幅を飾らざる事は甚だしいもので寧ろ之を憎み性何等の趣味もなく唯自己の天職を守るを以て快事とし自己の責任を自覺し常に過なき樣專心監督に注意して居つた其地方監査の際の如き列車中に在ては一二等車などに横臥する樣な事はなく必ず最後の三等車のデッキに佇立して視察監督するを常とした故に鐵道以外の者と雖も君の巨漢を見知る者が澤山ある有樣であつた神戶時代などでも附近の華美なのに染まる如き事は措いて常に其手提鞄中には

▲草鞋と手拭を 藏れていつでも萬一の踏査に備へてゐた斯の如きは決して君の故意にした事ではないのである君は頭腦明晰何事にも通曉してゐたが自己の職責以外には更に容喙する樣な事はなかつた其謙讓の德に富み友誼の深厚な事は今回の事をして更に哀悼を深からしむるのみである在京中の總督閣下も『岡村技師の訃音に接し驚愕痛恨に堪へず謹而御見舞申す』との電報を發せられた如き其他毎日內外知名の士からの弔電引きも切らぬ有樣である君の性濶達なのにも似ず思慮非常に周密なかつたが殊に驚く可きは死後の處置に就て詳細に遺言狀に認められてゐる事である通知すべき人名、葬儀の場所、行列の順序、死亡廣告文案揭載新聞名『等は勿論戒名さへも』鮮晶院恪守居士』と豫め選作してあつた儀式總て絶對に華美虛飾を避け寺の如きも龍山の興國寺と云ふ小寺に定めてあつた其遺言に據れば誠に質素に然も嚴肅に執行される樣になつてゐる實に君は獨り朝鮮のみならず日本鐵道界の一人物と謂ふも過言でなし今や此好漢莫し痛歎に堪へざる處である(三木營業課長談)

▲盜んだ工夫に増給した

岡村氏は非常に下情に通じた人であつた金錢に綺麗だつたと云ふ事も今は逸話となつて殘されてしまつた十數年前神戶に保線事務所長としてゐた時代の事だ相だが工夫の一人が線路の下に敷く枕木を盜んで自宅で焚物にした事があつたのを監督者が發見して

▲免職の手續き に上申に及んだのを故人は充分調査の上其れが決して惡意あつての事でなく家貧にして多人數の家族を養ふ事が出來ない事を發見し直に日給五錢を上げてやつたと云ふ樣な事がある萬事が恬淡な調子たから工夫の故人を見る事恰も神樣の樣に崇拜してゐた故人は實に仕事の人であつた書類を作つて仕事をするのではなく仕事をしてしまつて書類を作ると云ふ調子である毎日朝早く官舍を出て出勤の前には其管轄區內はズーッと巡視して來て其日の仕事を豫定して出勤するのみでなく部下乃至請負人等が如何なる事をしてゐるかをちやんと見て置くだから請負人等は故人に對してピリ〳〵してゐた故人の

▲金錢に綺麗な 事で面白い話がある矢張り神戶にゐた當時らしいが大阪の驛に出て『オイ俥屋』と云つて俥屋を呼んだが俥屋先生達梶棒を握つた儘其大兵肥滿に恐れてモヂ〳〵してゐる處が乘つてしまふといつでも札を抛り投げて置いて『剩餘は要らない』と來るので其れを知つた俥屋達故人の姿を見ると爭つて其前に梶棒を揃へると云ふ有樣になつた相だ其性格を躍如たらしめてゐるではないか同氏が朝鮮に來てから朝鮮鐵道の線路が面目を改めた近く列車速力の增進計畫などもあるが全く同氏の賜物と云つていゝ(安藤營業課長談)

▲非常な勉強家 岡村君は鐵道には隨分古い人で年齡から言へば僕等と餘り違つてもゐなかつたのだけど岡村君に對すると常に此方は小僧ッ子の樣な氣がしてゐた勤務の方面が違つてゐたので餘り詳しくも知らなかつたが其道の古參ではあり名前はよく知つてたし其れに僕が陸軍の方から京義線敷設の爲め朝鮮に渡つて來た時君は京釜鐵道の技師として相知りもし後同じ局の下に机を並べる樣になつたのだが同君に對する追憶は唯非常に勤勉な人と云ふ事で盡きる(横井作業課長談)

▲部下思ひ 岡村さんがお乘りになる時は屹度定まつて心付がありました別に貰ひ度いから言ふのでもありませぬが岡村さんから言へば私共は所管は違つてましても兎に角部下なのです其れに對して屹度間違ひなく心付があるのです然も非常に感じてゐる事は例へば龍山から永登浦迄お乘りになつても釜山迄お出になる時でもいつも一圓ときまつてるんです、私も思へば岡村さんから可成り心付けを頂戴しました(某列車給仕の談)

# ◎裁判長激怒大喝す

## 百萬圓事件の第一回公判

大分縣大分市生れ原籍同縣下毛郡中津町當時仁川居住訴訟代理人北島辭(四〇)が自己事務所の雇事務員鄭來源と共謀し江原道鐵原の鮮人百萬圓長者某より大金の詐取を企てたる事件は過般仁川支廳に於て豫審終結し是れが第一回公判を四日京城地方法院會議部に於て開廷したり同日午後二時被告北島は五つ紋羽二重の羽織を著流し被告席に著席す元々事件が事件とて

圖辯護士は八名 の多數に上り加古、吉武、吉川、木尾、高橋、後藤、白井、中島の諸氏出廷定刻となるや塚原裁判長里見石村兩判事陪席境檢事立會園部書記著席開廷さる傍聽席には內鮮人約二十名看守及び法廷取締りの巡査物々しく警戒す傍聽人は何れも片唾を呑みて待つ間もなく塚原裁判長は先づ被告に對し型の如く本籍住所氏名年齡職業前科の有無等を問ひたる後事實の審問に移れり事實は頗る錯雜し居れる爲め其審問に長時間を要せしが最初二三事項に就き裁判長より訊問したるに被告の

圖態度不遜を極 めしため裁判長は被告に對し『當法廷は民事法廷にあらず被告は被告の態度にて應答すべし任意發言を許さず今少しく態度愼重なれ』と劈頭に一喝を浴せられたり然るに被告は何も事實の審問に對し不利なる點は絶對に否認し且裁判長の問に對する以外の辯明の多かりし爲め『要點のみ答へよ冗言を避けよ』等の注意を受けたること再三に止まらざりしが被告は引つゞき自己の辯明にのみ努むるは他所ながら冗々しく事實の審問結了迄に約三時間に亘る長時間を要したり聽て裁判長は押收に係る證憑書類約十通許りを一々被告に示したるに被告は之を手にして稍久しく打眺めたる上一通〳〵に對する辯駁をなしたるも裁判長の問ひたる事項に該當しをらざるを以て裁判官始め各辯護士傍聽者に至る迄咳拂ひもせず靜肅に其模樣を注視しゐたりし所其辯明餘りにクド〳〵しき上に被告より厚さ八寸もある記錄全部を讀み聽かせ呉れと强請したる爲め塚原裁判長は玆に態度を改め一喝を與へ『被告は切りに辯駁に力め大に

圖自己の權利を 主張すと雖も目下被告人としての地位にあり乍ら豫審中係判事に對し一刻も早く取調べを終結し呉れと要請し尙且未決拘留中分監長に對しても自分の勝手次第なことを申立て殊に未決監より附添辯護士に送りたる書狀の中に豫審終結決定書が先入主となる樣なる公判を受けては甚だ不利なるに就き云々の如き文句ありたるは被告人として有るまじき行爲なり何も他の敎へを俟つ必要なく裁判長は裁判長としての意見と職權とを以て公判す記錄の必要あれば徹夜してでも讀み聽かすべし唯斯の如きは被告人の甚だ不利なる點にして今後監獄に於ても右樣の行爲は改むべし此は被告人に注意を與へ措く』との意味にて諭す所ありしかば、北島は辯護士に對し辯明する所なきやと尋ね一二の辯護士より證人訊問の申請をなしたるが被告は相繼いで書類を手にして深く見入り尙も只管辯明に努めたる爲め再三裁判長より注意を受けたるにも拘らず押問答をなしゐたりし爲め前記の如く列席の

圖辯護士に注意 するところあり且つ曰く『多數の辯護士列席しながら被告は斯の有樣なるに何故宥めざるや』と此の言に二三辯護士より熱狂せる被告を宥め諭める所ありたる後裁判長は立會檢事に對し意見の發表を求めたる所境檢事は徐ろに立ちて峻嚴なる口調を以て『被告は相當の教育あり地位ある身分にありながら唯自己の辯駁にのみ努め徒らに奸言を弄して徹頭徹尾裁判所に對し不平不滿の言を吐露す而して事實の取調べを主張することは甚だし本職に於ても事實の取調べは何所迄も贊成す但つて出獄をのみ急ぐべからず公判を急ぎて判決するや第二審に於ても一審の不平を鳴らすことに定まり居るべし只本職は今後裁判の成行く儘に任すべし云々』と論じたるに被告は尙も書類をのみ耽讀して態度を改めざりしより同檢事より嚴しく叱責せられたるに何事をか申述べを續けたりし爲め『默れッ』と天井も裂けん許りに叱りつけられて縮み上れるが裁判長より尙公判續行の旨を告げて閉廷したるは午後五時なりし

# ◎爲替貯金千餘圓を騙取す

## 三百圓を拂戻さんとして捕縛さる

山口縣生れ當時東京市下谷區入谷町三百十一番地橋本仁右衛門長男市松は四日午後零時三十分頃釜山草場町郵便所に至り

▲大阪爲替貯金局 二零二三號の貯金通帳を以て三百圓の拂戻請求をなしたるが先日も何者にか騙取されんとしたりし事ありしを以て所長武田愛次氏は同人の擧動を怪しみ土城町巡査派出所に同行警官に引渡し嚴重に取調べをなしたる處市松は本年六月頃より下谷區新坂本町郵便局に事務員として勤務中七月頃局長が病氣の爲め

▲入院せるを好機 として同月三日下谷區入谷町五山崎くのゝ預入に係る五圓を本人には同金額を貯金通帳に記載して交附し同局帳簿には記入を爲さずして該金を横領したるを手始めに同一手段を以て十一月二十三日頃迄百十名の貯金中より千六十八圓三十錢を横領し吉原にて盛んに蕩盡したるが更に同區入谷町中山留吉が百一圓六十六錢預入の

▲預金通帳を破損 したるに就き新通帳交附方請求したるを幸ひに大阪爲替貯金局へは紛失せし如く報告し該通帳を自分名義に書き替へ淺草區新谷町郵便局にて五十圓を拂戻し此れを旅費として新坂本町郵便局を逃去し去る二十八日午前九時釜山に上陸直ちに釜山府富平町百三十五松本

▲下宿屋に投宿し たるが本月二日西町郵便所より三十圓を拂戻したる上綠町遊喜亭にて費消し更に草場町郵便所に至り前記の金額を拂戻さんとする處を取押へられたるなりと(釜山支局報)

# ◎猩紅熱京城高等女學校を襲ふ

## 一週間の休業—防疫係の大奮勵

京城にては近來猩紅熱蔓延の兆あり十二月四日の如きは市內旭町二丁目九番地永田順子(十五)及び旭町一丁目十三號官舍不破美波子(五)南米倉町百六十阪泉鈴江(九)の三名發病し檢診の結果何れも猩紅熱と判明し前記の內美波子は四日午後十時診斷の上直ちに手當を加へしも五日午前四時に至り其効なく遂に死亡するに至れるが同家にては昨年も美波子の姉娘が猩紅熱の爲め落命し一家の悲嘆せる樣目も當てられず尙永田順子は高等女學校第二學年生にて女學校にては五日同教室に對し大消毒を勵行し同級生は向一週間休業したるが右の如き模樣なるより所轄本町警察署にては防疫主任警部以下全員總出にて消毒に努め病源の撲滅に大活動中なるが猩紅熱は概して土地高燥なる箇所に多く昨年の大傳染に鑑み本年は大に撲滅に努め居りし爲め前月迄には發生少かりしに本月に入りて俄かに續發の姿にて目下極力防疫中

# ◎首の無い支那婦人の屍體

本月四日午前安東縣西郷第四區內の村落を支那巡警が警邏中突然首なき支那婦人の屍體を發見せるより巡警は打驚き直ちに此旨報告せるに依り白區官は急遽醫師同行の上檢視を遂げたる結果他殺の證左歷々たるより直ちに犯人搜査に著手したり(安東縣)

# ◎鍾路の出火

四日午後八時四十分京城鍾路四丁目三十七番地耶蘇敎信徒李源模方より發火したるより鍾路常備消防詰所より消防手及び鍾路警察署より警官出張防火に努めし爲め溫突十間の內七間を全燒したるのみにて同九時十分鎭火したり原因は妻の李姓女(六三)が溫突の焚口に多量の籾殼を入れて燃やしたるも容易に燃えざりし爲め松葉を一把差入れたるに一時に火氣發し爲めに傍らに堆積しありたる松葉に火移り大事に至りたるものにして損害約二百四十圓なり

# △櫻井町界隈

若き妻なる　小野道子

私共は京城の町の漂泊者なのです。若い二人の落著く時の長短は住み心地のよしあしよりも二人の氣分の如何に據ります。一箇月足らずの間に三度轉居しました第一の理由は總てなのです。

□臺所の便不便□

處が私共の自慢しようと云ふ櫻井町は黃金町と相隣接して私共の樣な漂泊者の群の集つた處です電車を黃金遊園の前で下りると其界隈には古物の家具什器を一時にでも買ひ集める事の出來る樣な店が建ち並んでゐます。私共が其等の家で世話になつた事は擧げて數へられない程です。安價な

□涙と哄笑と□

惜氣もなく拂はせる活動寫眞のケバ〳〵しいイルミネーションと寒夜に冴ゆる樂隊の響きは私共漂泊者の心を煽り立てもします。櫻井小學校は此界隈の年少子女を聚めてゐます京城の市街中最も

□殖民地らしい□

氣分を味はせる漂泊者の群居地なる我が櫻井町界隈は宵近くなれば溫突の煙にあたりを罩められて、探せば『夜の宿』もそこらにある樣に思はれ薄暗い巷路にはゴルキーの樣な朝鮮人が躊躇とした足どりで『生活の歌』を呟き乍ら歩いてゐます。

◎老婆殺し[illegible]……同人は一月まで刑家に三回……京城府阿峴里二百二十八統七戶……分なきは勿論新物を異る者に有勝な會話に耳……

天氣　曇り

〇日出　七時二十三分　〇日沒　五時十五分

高尚優美なる歲末歲始　御好適贈答品　家庭化粧料　ホーカー液

一年中の疎遠を謝するは歲末歲始の禮にあり　歲末年始の御贈答品として　各家庭の需要日に增し盛なる　光榮ある化粧料　ホーカー液は理想的絶好の御進物なり　本品は貴婦人令孃の御化粧料として　又紳士各位の理想的顏料として　賞賛の聲天下に赫々たり　ホーカー液は進上ても貰つても實用になつて喜ばれる氣のきいた贈答品

三越呉服店を初め到る處の小間物店藥店雜貨店に取次販賣す

本店　ホーカー液　ホーカー美髮液　ホーカー白粉　ホーカースキート　東京和泉橋　堀越嘉太郎商店

實業　職業　新案特許　最も販路廣き　中川商會　京都市二條通大橋東入　振替大阪一四五六七

赤門印　人參規那鐵葡萄酒　貧血、衰弱、疲勞、婦人病等に最適の飲料　發賣元　小西商店　到る處有力なる洋酒食料品店にあり

景品附　正月餅賃搗廣告　一斗五升　出宅搗とも　拾錢　開店披露　新案特許家庭必須品進呈す　十日迄　四十錢　乃木餅屋

合資會社吉川製油所　大阪　テレメン油、テール油　木材防腐殺蟲消毒　鈴印クレオソート油　殺菌消毒　バクトリウム　全精製コールタール　全ベンゾール　カストル油、牛脂　桃印菊水印鈴印ボイル油　其他諸油脂塗料類

ぢの良藥　內用痔退丸　外用退痔劑　本舖　東京市日本橋區上槇町　安川

しが去月中旬同署にて何者にか……盗まれし……（山）刀肉丁の新傳教師所を負ひし外石にて贓物を質入せれ實に閲跡を……騙せんとして此の兇行を爲せしものなることを偵知し取調の結果與は犯罪……一百圓）を竊取したるを手初めに本年一……元堂面所在の由水田文券額面二千五百圓のもの一通及び結數連名簿謄本……を借入る……し尙ほ九月中に……城邑內宿屋金章……を騙取……

◎解警（十二月五日午前十時卅分仁川觀測所發）
▲北部の警戒を解く

●祖國の戰亂を外に見て
# 露國の青年十三名
## 何の爲の南洋行ぞ

四日午前五時四十分列車が釜山驛に著くとまだ明け切らぬ曉方の薄暗いプラットホームに一團の外國人青年が降りて何にやらソワ〳〵とした不安らしい態度で二等車から荷物を取り出したり運搬したりする物忙がしげなる樣子が周圍の人々の注意を惹いた羅國の俘虜事件以來官憲は固より誰もの目が一樣に之等の外國青年團の上に注意深く注がれたのである併しながら此の一團は勿論俘虜でもなければ獨逸人でもなくコーレミチン外十二名の露西亞青年であつた彼等の多くは

■防寒帽を目深に 冠り厚い外套の襟を立て赤帽を指揮して少からぬ荷物を連絡船へと運ばせたやがて荷物を船に運び終ると彼等は一安心と云つた風にシガーに火を付けてヒーヤの上を濶歩しながら何やら饒笑して居る何れも二十歲より三十歲位の年輩で三四人は纖弱さうな蒼白い顏をして居る者も有つたが他は何れも骨格逞しく天晴れ丈夫の體格を備へて居るが明け行く海の景色を眺めながら『柔らかに温かき太陽の光が波の上に射したよ南の國の氣分がする』と云ふとブリッヂに倚りかゝつて居つた

■蒼白い細面の青年が 美しい聲で『祝福すべきかな南の國、更に南に更に』と微笑しながら獨語の如く語りながら彼等は連絡船壹岐丸の甲板に集つて港の口から漂ひ來たる曉明の紅潮を心地よげに眺めて居つたが軈て船室の中へ身を隱して終つた此の青年團はハルピンから神戸までの連絡切符を持つて居たが神戸から更に便船を待つて濠洲又は南米に航する豫定であるとの事だ目的は漫遊又は出稼等であると云ふが其の實際の目的は徵兵忌避に非ずやと噂さるゝやがて午前六時四十分彼等を乘せた壹岐丸は錨を拔いて下の關に向つた

### ◎大典記念植林
道訓令にて規定發表

御即位の御大典を永遠に記念し奉る爲め平安南道各面に於て造林事業を經營せんとする者頗る多きが道廳に於ては三十日訓令三十七號を以て大典記念模範林規定を發布したり其の內容を見るに大典記念模範林は曠古の御盛典を永遠に記念し奉ると共に面民の造林の模範を示すを以て目的とするものなれば地方の風土に應じ確實に成林すべきものを選ぶ事模範林の境界線中山火の虞れありと認めらるゝ所は防火線を設くる事面長は該計畫に對し郡守の認可を受くるを要する事亦情況により模範林監督員を地元民より選拔なし其の監督員へは報酬として下草其他の副產物を給する事等なり尙ほ既設大典記念模範林は百〇五箇所面積千町步以上に達し居れるが之等は全部該規定を適用さるべしと

### ◎平壤排水施設
本年度計畫終了す

本年度の計畫に屬する平壤市街排水工事は五月中平氏受負の下に起工して以來雨少なかりしと天候順を得加ふるに地下粘土層なりし爲め工事の進行意外に捗どり十一月十五日を以て豫定の如く工事を終り其の後發工事の整理中なりしが本月二日全く終りを告げたり而して其の竣工區間は晴海門通り南門通り大同門通り江岸裏通り須磨通りにて排水施設の總延長一千二百十九間に上る由

### ◎鴨江戰跡見學
大房身駐屯步兵第二十一聯隊長大澤大佐以下聯隊附將校三十五名の一行は沿奉沿線の戰跡を見學して三日午後五龍背へ到著同地溫泉場へ一泊の上四日朝安東縣に出で直ちに九連城方面へ赴き戰跡の見學を終へて夕刻引返し元寶館富久壽美館等へ分宿し五日午前より安東縣附近を視察し同午後八時三十分發北行せり

### ◎善山龜尾間道路著手
慶北金泉若木間の鐵路が龜尾迂回の結果龜尾地方は俄に曬望され龜尾を中心として若木又は善山より三等道路を開通しつゝあり若木龜尾間は已に路面の竣工を告げ一方善山郡廳にても一日も早く善龜間の道路を改築し以て產業上の實益を圖らんと準備中なりしが愈七日頃より是が工事に著手する事となれり因に該線は三里二十九町道幅二間半有功路面二間にして來年一月中旬までに竣功の見込なるが完成の曉には車馬の通行自由にして頗る便利とならん

### ◎善山地方陸棉耕場 慶北
道にては善山地方を以て陸地棉栽培主要地となし來年度に於ては八百町步の棉作地に全部陸地棉を栽培せしめ大正六年度には千二百町步に增培せしむる方針にて非常なる努力を以て計畫を進めつゝあるが目下棉作組合に於ける棉價は陸地棉繰綿（一斤以下同じ）一等三十三錢二等二十九錢五厘實棉一等十錢二等九錢五厘在來棉實棉一等七錢二等六錢五厘なり

### ◎平壤高女移轉
平壤高等女學校は新築愈々出來に付來る七日頃移轉すべく目下同校にて準備中也

◎軍人分會移轉 平壤在鄕軍人分會は從來平壤實業協會と同居にて執務しゐたるが演武場及び事務所の新築成りたるに付此程移轉せり

◎平壤憲兵分隊異動 平壤憲兵分隊附淸水伍長は今回軍曹に昇進し新安州派遣所長に補せられ四日出發赴任したるが分隊長以下本部及び分隊員の見送り盛んなりき尙其後任は安州分隊より森軍曹來任の筈

◎梧野洞火藥庫竣成 三井物產會社にて建設中なりし大同郡大同江面梧野洞に於ける火藥倉庫は今回竣成したる由

### ◎全南道より
濟州島不振

濟州島の漁業は依然不漁なる爲め農民の經濟は逼迫し僅に麥粟の豐作と椎茸移出とにより餘喘を保ちつゝあり此の上は漁法を一變して進取的のものとし從來の如く海岸に蜘蛛手の如く網を張り魚の回游を待つ方法を改め沖取りを爲し進擊して魚を捕ふるを可とすと▲陶器講習會 長城郡は古來陶器を製出し陶土も全南管內にては佳良なりしが本道は來る十五日より二十三日まで同郡に於いて陶器講習會を開催する筈にして敎師として工業傳習所の貞包技手を聘すべく生徒は二十名なりと▲光州の金融 棉花の出廻り盛んなる爲め鮮人の經濟中幾分溫かとなりしも多年枯渴の襲ならしむるに及ばず市況は依然不振の域を脫せざるも明春に至りて米價昂騰すれば一般の景況は恢復すべく今當地唯一の金融機關たる農工銀行が十一月中の貸借を擧ぐれば貸出四萬一千三百三十七圓六十五錢、回收二萬九千八百五十一圓二十一錢、現在高三十八萬一千百〇四圓九十七錢、預金二十五萬二千三百八十二圓、拂戾二十四萬八千〇七十六圓十五錢、現在高三十萬六千五百二十錢等なるが其の預金と拂戾の增加は木浦等より送金の棉花買入資金を預金となし更に引出せしに因るものなり

### ◎元山より
北寄貝採取の有望‖鰤の不漁と鯖の大漁‖捕鯨事業の失敗‖明太漁期に入る

▲成鏡南道沿岸一帶に於ける魚族の豐富なる事は一般の認知する所なるが過般朝鮮水產組合に於て詳密なる調査の結果單に魚族のみに止らず北寄貝が沿岸到る處に無盡藏なるを發見せり、尤も北寄貝は從來日鮮人の採取に從事せるものありしも之等は悉く鮮人の手に依り乾製となし主として支那地に輸出され居りしものにて若し之を大規模の計畫の下に製造するに至らば一層盛んなる輸出を見るに至るべし又昨年來西湖津に於て罐詰製造業を營む內地人某は本年初て北寄貝の罐詰を製し各地に移出したるに好評を博したるを以て明年は大規模の製造を爲す筈北寄貝の採取方法に就ては當局に於ても之れが獎勵法を設け就業者の增加を圖る由なれば漁獲の增進と共に北鮮の經濟界は好影響を受くるに至るべし

▲本年秋期に於ける成鏡南道沿岸の漁業は槪して不成績を免れざりしが利原郡南面船盆里に敷設せる與田大敷網漁場にては去る十一月廿日頃より鯖の大漁あり之れが爲め漁場は漸次活況を呈するに至れり、其漁獲高十數萬尾價格約一萬圓にして悉く內地に搬出せり之れに就き某專門家の語る處に依れば本年は目的物たる鰤の不漁に終りしは潮流の關係にして鰤は遠く沖合に魚道を採りて南下し之れに反し異種類の魚類は鰤大敷網の魚道附近を通過せし爲め斯くの如き鯖の大漁を見るに至りたるなりと

▲成南新浦附近に於ける東洋捕鯨會社捕鯨根據地は去る十月初旬以來捕鯨船第五捕鯨丸を廻航せしめ從事中なりしが同月中前後四頭を捕獲したるのみにて爾來成績不良なるより十一月下旬を以て一先づ同地當期に於ける事業を中止するの止む無きに至りたりと

▲成鏡南道新浦を中心とした本年度の明太漁業は數日前より全部に亘りて漁獲に著手せるが前年に比し漁獲極めて順調なれば本月下旬に入り盛況を呈するに至るべく漁獲物は昨今弗々市場に現はれつゝあり（三日）

### ◎連絡船上陸客
四日午前釜山入港弘濟丸一二等客

一等（二名）國井藤兵衛、小宮三保松、二等（廿九名）北島きく、同信夫、友成佳次、小澤良、同たつよ、同伯、進藤省吾、同みさを、赤尾鶴造、萩澤平二郎、櫻岸吉次郎、同崎伍次郎、同とめ、同正次、鳴神豐、西山宣、同太、中川つま、同七平、同省吾、奧平淸貞、飯山裕一、遠藤平之助、竹原政夫、谷道治一郎、西嶋源太郎、同三遊厳、同毅、丹羽榮太郎、栢本五雄、三等（百五十四名）

四日午後釜山入港對馬丸一二等客

一等（七名）小坂齊、同武子、小林長兵衛、同榮子、松宮辯次、熊城三郎、英國人一名、二等（二十三名）澁谷大、鎌倉彊、坂野朝若、田中ふじ、北古賀つや、同あや、近藤三千三、同緣、木村秀吉、木下留三、同富平、木下愛子、木宮亮旦、今井爲三加及孝二郎、三等（六十八名）


年末の贈答品には
實用向きの お召銘仙
珍柄豐富
本店 京城本町二丁目 ちゝぶや 電話八九〇番



リウマチス、神經痛と 神症湯 せんきさんに悩む人は

彼れ是と迷ふ無く

蠲く稀效く靈藥神症湯を試みよ現に烈しき神經痛が僅の神症湯で夢の如く治り又は頗る難治のリウマチスや數年痼疾の疝氣で惱みし方々が神症湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り懇篤なる謝狀（現在保存す）を送らるゝ實例も勘からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と重症との論なく即刻試みよ神症湯は家傳の秘方藥なるも今や全國各藥店に有り

本劑は せんき リウマチス 神經痛 と 子宮 血の道 ヒステリー 慢性胃腸病 頭痛頭暈者なり

◎こんな徴候

胸、頸、手、足、肩、背、腰、膝、臂、丸等の筋つり、しびれ又は、張り痛み◎彼處此處と移動し何となく怠く◎腹張り胸つかへ◎差込み◎溜飲◎食進まず又は◎便秘又は下痢◎過ぎ逆上◎寒氣◎耳鳴◎頭痛◎肩凝◎目暈◎頭重く◎腰足冷へ◎力なく◎根氣薄ら◎眠られず◎氣鬱◎記憶減じ◎物事に倦み易く◎顏色惡しく◎手足の浮腫等 リウマチス神經痛の因は婦人病及び諸病の起る因なり早く神症湯を試みよ

價 一週十五錢 二週廿五錢 …

本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎

代理店 京城南大門通三丁目 新井大藥房



# ミツワ石鹼

擔任技師 工學士 藤野太治郎 工學士 越智主一郎

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に『フエノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮脂の分秘量多くして而かも粗髓なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。

二、溫雅の芳香を有す。

三、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

▲賣捌‖全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ◎（登錄商號） 丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號（○ミヤ）
振替口座東京七一〇〇
浪花三一〇〇
營業部電話 浪花四四四四 五四四 〇九八

# 越後大評定

第六十四席 早川貞水口演

## 福井城へ上使差遣

此とき上使安藤右京進『上ー意』荻田主馬幼君に代つて『ハ、ハーッ』右『他の儀にあらず、此度越前守、福井に於て私に干戈を動かし候段、不屆に付き、開城の上、再度の沙汰相待つべきものなり』仙千代丸殿は、御幼年のこと故、御手を支いて聽いて居らせられる、途端に御後ろの襖がサッと開くと、志津三郎兼氏の、葵の御紋散しの柄の附いたる薙刀小脇に拋込んで立出でられたは勝姫君『右京ーッ』と一聲高く仰せられた、流石に右京進驚かれたのは、未だ御上使の役目の濟まぬ間に、右京ーッと呼付けられた『仙千代は幼年なれど、妾事は將軍家の姉たり、然るに今日の御沙汰に對しては、妾承服いたし兼ぬるに依り、飽まで臣下に申し付け、籠城いたす覺悟、其方江戸表に立歸り、將軍家には大軍を以つて此福井城を攻取らるゝ樣、申上げよ、其時は汝江戸よりの先陣を勤むべし、妾と仙千代の首は、汝に遣はすであらう、併し之れも戰場勝敗の上たり、疾く立歸れ、猶豫するに於ては、一刀の下に斬捨てるぞ』御婦人と思はれぬ程の凜々しき御勢ひ、右『恐れながら申上げ奉る、縱令將軍家の姉君に在すとも、濫りに干戈を動かし給ふは、將軍家へ對して相濟まざるは勿論、畏れ多くも朝廷に對し奉りて不忠の臣、征夷大將軍の御職分として、捨置く譯には相成らぬ儀で御坐る』『控へ居れッ、干戈を動かすは妾が好んでなしたるにあらず、將軍家の御心より出でたること、若し朝廷に對し不忠と云はゞ、將軍家こそ不忠の臣と申すべし、立歸つて能く此事を申上げえーッ』今にも薙刀を振込んの御勢ひ『然らば乃公江戸表へ立歸り、此事申上げるで御坐らう』『疾く行けーッ』仙千代樣の御手を引いて、スーッと御奧へ御入り遊ばした、安藤右京進は、二の箭が番げず、老臣も亦如何ともすることが出來ない、其まゝ右京進は萬昌寺まで一旦引取り、暫時休息すると、夜を日に繼いで江戸表へ立歸り、御老中へ此事を申上げる、御老中方眉を顰め、愈よ越前家の御決心捨措かれず、將軍家へ上申いたし、軍議評定と相成りました、そこで上段の間には德川三代將軍家光公御控へ、續いて尾張、紀伊、水戸の御三家を初め井伊、本多、酒井、榊原、若年寄御目付、各奉行に至るまで列席、この時將軍家には、未だ二十歳前で居らせられるに依り、御大老として井伊掃部頭が御附き申上げる將軍家が御幼年とか、御病身でなければ大老は御設けにならぬので御坐います、そこで大老井伊掃部頭まづ進み出で『此度越前家勝姫君、御上使に對し暴言を吐かれたるのみか、籠城の御決心翻へすべくもあらず、依つて愈々此度は御征伐相成るに依り、各位方腹藏なく、良き軍略もあらば申述べて宜からう』

入院隨意(診療夜九時迄)
淋病 梅毒 痳疾 胃腸病 腎臟病 皮膚病
泌尿器病
專門
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院 電話四一九番


十二月七日九星 舊十一月朔日壬申 本命九紫南定大安

▲九紫● 煮えきらぬ事有日 新事見合西方は吉瞬 ▲一白● 細紙の事有日 落附て新事手控商事 ▲二黒● 自分味噌の事有日 新事手士工は妨なし▲三碧● 好事魔多し 控商事は吉又散財を防ぐべし ▲四緑● 拔目なき日 轉居旅行 商入學 ▲五黄● 爭事多き日 ▲六白● 野望起き身を過す 細ろ振ふべきの日也 ▲七赤● 色情の纏れ小盜用心の日 新事手控ふべき事は妨なし ▲八白● 餘裕有日 轉居旅行 商入門名弘 金件雜增求 職替相談 電氣利用 樂器 萬吉

## 演藝案内

櫻井町 電話八七三番 大正館

十一月二日より新寫眞提供 ●實寫伊太利キャベ島の絶景●滑稽悲喜劇が●社會劇の明星最後の謝罪(原名人殺人)全五卷文明の敵悪魔無比、猫怒水芳封初師原用歐洲現代既明▲尾上松之助一座大車輪活劇○舊劇伊達政宗全三卷六十八場●喜劇消火器▲日活●社劇東京撮影所傑作○新派大悲劇新橋情話全三卷二十八場名門の殘亂…の大團圓となり…名の鼓鳴呼

黄金町四丁目 電話二六三七 黄金館
龍山停車場前 電話(龍山)四番 龍光館

天然色活動寫眞株式會社滿洲第一手代理店

十二月二日より全部差換 ●歐洲戰亂畫報白軍觀艦 ●館獄軍大の活躍●滑稽半日ホテル●滑稽ルーニーの人命救助 ●泰西正活劇酒の罪全三卷●來れり天活會社が最近の大作品にして三都至る所に於て大好評を博したる舊劇實錄信田狐全四卷卅八場は曝しく評判れ來て見よ和泉なる信田の森の恨み葛の葉信田の白狐黑に報ふに葛の葉姫の姿を借りて阿部保名と同棲し童子を儲くそも此童子長ずるに及び大内に仕へ惡人蘆屋道滿を亡ぼせしと云ふ後世に聞ゆる陰陽大家阿部晴明の實傳 ●御客樣の御便利な…電話申込は電話二七七へ

明治町 電話二六〇番 浪花館

十二月四日より ●新派讀の名人京山恭爲一行(大阪直行初目見)
▲鼓井玄意(發春)▲壺坂靈驗記(一洲)▲水戸黄門記(若春)▲北海奇文雪夜物語大石道寶二席▲橘大尉以上三席(恭爲讀演)
毎日晝夜二回不時午後六時より開演任候

本町 電話五七八番 壽座

十二月一日より新舊劇…▲舊劇『め組の喧嘩』 上中下三卷
▲尾上松之助一座大車輪の活劇 ▲新派劇『新夏木立』 上中下三卷
▲米國アメリカンフィルム會社 ▲泰西活劇『寨勇』 上下二卷

電話一〇〇五番 本町 壽館

浪界の女傑女雲右衛門來る
十二月四日五日目 藤沼國太郎(声の里錦)佐賀の夜櫻つゞき(木山竹子)小田原騷動つゞき(立花文子)更科專輔傳つゞき(吉住美代子)調兵衞金九、段荒瞬(安雲右衛門)義士木樓(勝掛合)番外水戸黄門記つゞき(〇〇亭春月)
▲入場料 一等金二十錢 二等…三等…

御成町 電話一一九一 御成座

八十回目特轍廻 一松山蔵 余十二人


# 使へば使ふほど氣分を良くする
# クラブ齒磨を勸む

使へば使ふ程新らしき氣分と快き感じのするはクラブ齒磨の一大特色也

# クラブ齒磨の一大特色あり

原名 ゴノ子ルビン
效力的確 用法一日一回 秘密安全 奇藥 ▲賣價一圓 ▲郵券代用一割增 ▲匿名發送
▲京都市栗田川崎 自療法研究所

優良石鹸 花の都
マスト石鹸發賣元 東京大阪 野村外吉商店

最上醬油
特許機械製 ほまれ味噌
絶對的品質本位
滿鮮醸造界唯一の名譽
於大正五年朝鮮物產共進會
金牌受領
醸造元 仁川港
日本醬油株式會社


朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著

再版 改訂增補
朝鮮不動產登記 朝鮮商業登記 申請書式並心得

▲紙數四百八十頁。代價金壹圓。郵稅金拾錢

本書中不動產登記の部には土地調查に關聯せるもの及不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請(京城府所定)委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を揭て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考ご爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を揭記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 京城日報社代理部
京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番

## 大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て運賃特割
○外航所臨航路(遠洋航路を除く)曲近海航路御乘船の時は五分引を以て運賃切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
溫州丸 十二月十五日 午後五時出帆
漢城丸 十二月 七日 午後 出帆
×油頭丸 十二月十一日
○木浦、釜山、長崎行▲は鹽頭灣の浦に寄港
××安東丸 十二月九日 午後二時出帆
▲天智丸 十二月六日 午後二時出帆
○鎭南浦、大連行
××安東丸 十二月十三日 午後二時出帆
城津丸 十二月二十日
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
×◉漢州丸 十二月六日 正午出帆
○門司大阪行
×◉尊州丸 十二月九日 正午出帆
○群山、釜山、横濱行
△△千珠丸 十二月二十一日 午後四時出帆
チヨイサン丸 一月一日
○大連直行
△△千珠丸 十二月十四日 正午出帆
チヨイサン丸 十二月卅日
○濟津、浦潮行(元山出帆)
▲は城津西湖津に寄港
地久丸 十二月十八日
宮丸 十二月八日
▲大智丸 十二月十四日 午後三時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 十二月廿九日
新高丸 十二月十七日 午前十時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運輸切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘船被下度候
○×印は一等客御斷り ◉印は船客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 二〇五番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

## 尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
吉丸 十二月 日 午後四時出帆
君が代丸 十二月 日 午後四時出帆
神代丸 十二月 日 午後四時出帆
大有丸 十二月 日 午後四時出帆
第二太湖丸 十二月五日 午後五時出帆
○群山大阪行
土海丸 日 午後四時出帆
仁川港海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

## 日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
相模丸 十二月廿七日 正午出帆
三河丸 十二月十一日 正午出帆
○大連、太沽行
高砂丸 十二月 日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

## 朝鮮郵船

本社 電話長一九五二番二三三番 京城 鐵道及南滿洲鐵道會社と貨物連絡の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、貨客取扱店に御照會相成度候 京城南大門通 松原運送店 (電話二一七〇番)

○京畿丸 十二月十四日
全羅丸 十二月 日
黃海丸 十二月八日
成鏡丸 十二月十八日
仁川より釜山各港寄港經由雄基間ごと 釜山發

穩城丸 十二月九日
昌平丸 十二月十三日
鏡城丸 十二月五日
元山より各港經由雄基行 元山發

平壤丸 十二月十三日 元山發
忠淸丸 十二月五日 元山發
城津、淸津、浦鹽行直航釜山經由門司

永興丸 每月廿八回 元山發
北久保 又は長崎西長 五島浦行

嘉島丸 十二月四日 釜山發
甘浦、九龍浦、浦項各港經由蔚山行

江陵丸 每日 (釜山浦項)發
長生浦、方魚津寄港

襄陽丸

三浦丸 十二月四日 釜山發
長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行

濟州丸 巨濟丸 每日 釜山發
統營丸 慶寶丸
各港經由麗水行(三日目一回木浦行)

順天丸 三日目毎 木浦發
各港經由麗水行

慶興丸 十二月七日 木浦發
各港經由濟州島行(濟州回)

公州丸 十二月十二日 木浦發
南多島海(月三回)

公州丸 十二月 日 木浦發
各港經由郡山、濟州島行

宗信丸 十二月十日 仁川發
海州他各港經由山、鎭南浦行

江原丸 十二月七日 仁川發
芝罘、大連、靑島行

麗水丸 十二月六日 仁川發
晋州丸 十二月十一日 仁川發
各港經由木浦行

全州丸 南陽丸 每日午前 仁川發
江華島、桐島、海州行

平安丸 十二月十九日 群山發
十二月六日 若松發
往航 大黒山、木浦、門司、若松行
復航 門司、木浦、群山行

## 阿波共同汽船仁川出帆

夫第三共同丸 十二月五日 前九時出帆
十二月三日 後二時入
芝罘、大連行
御鮮鐵道主要駅にて貨客連絡取扱仕候 大連に於て靑島行定期船に接續貨客共取扱仕候

第一城鶴丸 十二月 日 後九時出帆
城津、淸津、浦潮行(元山出帆)
と同時入港受付仕候

第三共同丸 十二月 日 前八時出帆
西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆)

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
仁川代理店 元山代理店 田口回漕部
京城取次店 中大門通電話(二八二〇) 河村運送店

## 汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行
文神丸 十二月廿一日 後五時出帆
○元山城津浦鹽行
立神丸 十二月九日 後十時出帆
○門司、神戶、大阪行
小倉丸 十二月十四日 後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行
小倉丸 十二月廿三日 後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸 十二月廿一日 後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸 十二月十二日 後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十一時出帆
釜山港埋立新町 本町電話百番 大池回漕部

第三版 京城日報 六日朝刊（第二千九百六十四號）

## 財界時言（十二月五日）

### 滿蒙拓殖銀行問題

○對支金融機關の設立に就ては、滿蒙と支那其他の地方と、自ら考察を別にすべきものとす。單に滿蒙に關して云へば、此等の地方は吾が主要殖民地として帝國が獨力其の經營に任ずべき責務と權能とを有するが故に、此處に設立せらるべき金融機關は、總て純日本的なるを要するや勿論なり。而して其任務は發行銀行にして商業資金の供給に當り、且つ一般金融の調節をなすものと、農工業、鑛山、鐵道等の事業に對する長期低利の開發資金を供給するものとの兩面あるを要し、前者は中央銀行として、後者は拓殖銀行として、各別に活動するを至當となす。

○玆に滿蒙に於ける開發資金の供給を爲すべき拓殖銀行の設立は、甚だ急務に屬するは言ふまでもなし。但だ、其の如何なる性質のものなるべきやに付き一言すれば、此の銀行は一面に於て農工業、鑛山、鐵道等に對し、長期低利の貸付を業とするのみならず、更に進んで滿蒙に於ける諸般事業の調査計畫發起の任に當り、又此等事業會社の株券又は債券の引受等、所謂企業的放資業務をも營むを要すべし。即ち拓殖銀行の性質は一面母國に於ける勸業銀行、朝鮮に於ける東洋拓殖會社金融部の如く、不動產銀行たると同時に、一面には證券銀行たるを要す。此點は實に滿蒙開發の目的を達する上に於て、最も緊要事項となす所也。斯くの如く拓銀の放資は主として長期固定的の性質を有すべきが故に、之が資金も亦主として債券の發行等長期の信用に之を求むるを要するや論なき也。

○而して新設せらるべき滿蒙拓殖銀行の組織を如何にすべきやは、最も考慮すべき問題なり。既に其の目的は滿蒙の開發及び邦人の勢力扶殖を援助するに在るを以て、之に對して政府の充分の保護と監督とを必要とするは言を俟たず。又滿鐵會社は單に一鐵道會社たるに止まらずして、其の使命は廣く滿蒙の開發に存するが故に、新拓殖銀行とは此點に於て又た密接の關係を保持するの必要あるべし。滿蒙に於ける中央銀行亦同樣の關係に立つものと謂ふべし。

○吾人は我が東洋拓殖會社が他日滿蒙に進展すべきを信ずると同時に、玆に論じたる拓銀問題は東拓に密接の關係を有するを思ふ。而して之に關する吾人の所思は改めて記する所あるべし。

## 滿洲と圓金本位（下）

京城銀行集會所の意見

### 金建政策を如何

八、實際上に於て滿洲の幣制を圓金建となすことは、法令上に於て圓金建たらしむるの先驅たるは論を俟たざる所なり。果して然らば、此目的を達する爲め如何なる政策を採るべきやと云はゞ、結局邦人の勢力の發展如何に歸著するにあるは明かなるも、特に多數の勞働者を使用する大工業、又は鑛業の發達を圖り、此等の大企業を通じて廣く圓金本位貨幣の散布及び圓金建取引の普及を計るは、最も必要とする所なるべし。其他有力なる政策を列記すれば如左

（一）現在滿洲に流通する圓金本位の銀行券及び帝國補助貨は、滿洲を圓金本位化せしむる上に於て必要の貨幣たるは論を俟たざる所なるも、右の內帝國補助貨は其外形支那の洋錢及び銅貨に酷似する爲め其流通の普及を計るは反て貨幣の混亂を來すべきを以て、一時の權道として右に代るべき一圓以下の小額銀行券の發行をなすは當面の緊急事項たるべし。

（二）邦人の發展及び朝鮮臺灣並に內地の對滿取引の增進が、滿洲に於ける金取引の發達を促したる原因たるは論を俟たざる所なりと雖も、關東都督府及び南滿洲鐵道會社が其計算を金建となしたるの一事は、金建取引發展の上に於て極めて重大なる影響を與へたるは何人も疑を容れざる所也。而して今後圓金建取引普及の上に於て右に劣らざる效果を生ずべきものは、大連に於ける重要物產取引所の圓銀建取引を圓金建取引に改定するの一事にあり。此の改革は滿洲の都部を通じて、對內及び對外諸取引を金建に變更する上に於て偉大の效果を及すものありと信ず。現今の如き金銀相場の變動あるに拘はらず重要物產の內地に輸出せらるゝもの巨額に達す。若し夫れ取引所にして圓金建となさんか、輸出額の劇增を來すべきは何人も疑を容れざる所也。

（三）銀行其他主なる會社に於て圓金建諸勘定に對しては、圓銀及び其他の銀建取引に對するよりも一層の便宜を與へ、以て銀の流通及び銀取引の減少を計り、特に日本側金融機關の共力を求むるは最も必要とする所なり。

（四）圓金本位制の實施に伴ひ最も必要にして且つ最も至難なる問題は、支那政府及び支那側銀行に於ける洋錢又は紙幣の濫發に對する制限是なり。今日滿洲に於ける幣制紊亂は主として之に基くものなるを以て、滿洲幣制改革の實行に伴ひ、一面金建取引の普及を計ると共に、一面此等洋錢の鑄造又は紙幣の發行を制限するを必要とすべし。而して其方法は支那政府又は有力なる支那側銀行との協力によるを必要とするや論を俟たず。

九、滿洲幣制の本位を圓金建となすべきこと、及び其二三の方策は前述の如し。更に研究すべき問題は圓金建の代表貨として如何なる貨幣を用ゆべきやの問題是なり。此の問題を單純なる理論によりて決定することを避け、最も實行し易き實際上の問題とすれば、朝鮮に於ける通貨を以て其代表貨と爲すを以て最良策なりと思惟す。蓋し安奉線開通以來、朝鮮の通貨は自然に北進し、近來の趨勢一層顯著なるものあり。而して今後我が經濟的勢力の北進と共に、此傾向は益々著大ならんとす。故に若し政府にして此國民的趨向を利用し朝鮮の通貨を以て滿洲幣制の統一を計ることとせんか、其勞最も少くして其功を奏すること最も大に、且つ最も速かならんと信ず。試みに思へ、旅客一度馬關海峽を過ぎて釜山に上陸せんか、母國と異りたる別箇の銀行券あるを見ん。而して僅かに鴨綠江を渡れば更に別種の銀行券の流通するを見ん。此の如きは啻に不便なるのみならず、又帝國の大陸政策と相容れざるものなり。之れを同一經濟地域となし、一圓となすことは、識者の等しく唱道する所、而して之が手段として鮮滿通貨の統一を必要とするは論を俟たざる所なり。

## 新支那漫言 二

布施知足

吾等は支那が自ら改革し自ら努力して以て世界の舞臺に其身を上さんこと試むるの日あるべきを信ず。而して吾邦が常に自ら誇つて宣言せる支那の後見人としての日本の任務は偏に支那をして一日も早く世界の舞臺に上らしめ其上るに當りて誤れる道を取らざらしむるにあり。思ふに聰明なる吾邦人士の間には此事固より既に明らかに國策の決定せりと云ふもの亦當に玆に在らん。不幸にして吾等は同時に動もすれば之と相扞格する議論と手段とが其の間に存するを見逃す能はず。他無し成るべく支那をして世界の視聽より遠ざからしめ其虛に乘じて多少の利を占めんとする思想之なり。忌憚なく謂はゞ吾等は近時大隈內閣が試みたる彼の交渉に於ても斯の如き感を懷くを禁ずる能はず。支那より觀て殊に其然るべきを覺ゆ。吾等は吾が對支觀念に於て何よりも先づ此點を改むべきを主張せざるを得ず。日支國際關係に横はる禍根の根本は實に玆に在り。此意味に於て吾等は吾邦が今後あらゆる方法に於て支那が國際上の位地を高め之を世界の表面に引き上ぐるをもて明白に其任とせん事を望む。乃ち協商國の誘引問題に於ても吾等は吾邦が如上の見地より率直に之が賛意を表せん事を望まざるを得ず。而も之を爲すは唯支那の爲に世界に於ける一新地位を獲得する爲に在りと云ふ明白なる理解あるを要す。大隈內閣が吾等の所期に反して不贊の意を表せりと云ふもの抑知らず支那が遂に世界の舞臺に上るを欲せざるか上るに際して取るべき道を誤れりとするに在るか。吾等は內閣が今次の加入問題を目するに吾等と立場を異にするにあらざるかを疑はざるを得ず。吾等は吾邦が今次の問題を考慮するには專ら上述の點を以てせん事を希望せるは既に前に述へたる所の如し。吾等は支那の指導者を以て任ずる日本が自ら此問題を觀る事斯の如くなるのみならず更に支那に諭ふるに亦斯の如くすべきを以てするを希望せざるを得ず。乃ち支那が協商側加入に贊意を表せざるも既に其加入の勸誘を受けたりと云ふ事實よりして國際上自國の位地に對する自信を生ぜしめ更に中立國として其位地を確保し因て以て加入によりて獲得すると撰ふ所なき新位地を世界の舞臺に於て獲得せしむるを得ば吾等が本問題によりて以て庶幾せんとする本意は達せらるゝに近からん。此意味に於て吾等は本問題を以て帝制問題と結ばしめんとせる支那策士の所爲に贊意を表する能はず。

## 放浪漫記

大谷光瑞

（承前）如斯き厚炭層なるに拘らず、面積の狹隘なるは、疑訝に堪へざるを以て、之を炭坑長に質すに曰く、この地勢は東西を貫通せる峽谷を往古になせしが如し。然るにバザルトの噴起と共に西方を閉塞せるを以て、峽谷は深底の湖沼の如き觀をなし、上流より流下せし木材は、之に膠溜し、終に二百尺に及べる厚炭層をなせしならんと。石炭は概ね針葉樹の炭化せしものゝ如く、樹脂は明瞭に炭中に殘留し、間々塊狀の琥珀を得ることあり。而して炭層は傾斜せるを以て、地下尺度一定せずと雖も現時主要なる採掘所は、千二百尺の地下なりとす。この炭層に接觸せる炭層はセールなり。皆第三紀層に屬す。米倉炭坑長猶曰く、明年は更にモンド瓦斯を擴張し、一層電力の供給を增大せしむべしと。蓋し本炭坑は南滿洲第一の寶庫にして、八億噸に近き埋藏量は、正に我發掘を待てり。廿五日午後雨猶ほ歇まず、明日は千山遊覽の豫定なるを以て、天候の關する所重大なり。爲めに大連水內觀測所長に問ふ、直ちに返電あり、低氣壓は直隷海峽を東走せんとするもの、如し、北支方面は不明なり、若し變なくば漸次良好に向ふべしと。現狀に於ては實に判斷に苦む。特に風力頗る微弱にして、高氣壓の西北より壓迫し來れるが如き徵候を見ず、進退遲疑せしが、幸に午後四時に至り、西天に雲鮮を生じ、暮日斜暉を射る。意を決して撫順を辭し、此夜湯崗子の溫泉場に泊す。この溫泉場は、天然の風光五龍背、熊岳城に及ばずと雖も、浴場の設備に至つては、滿洲第一たるは勿論にして、本邦の第一等級の溫泉と比肩すべし。翌朝窓を排せば、陰雲猶天に漲ると雖も、西風やゝ強し、故に意を安んじて、千山に向ふ。千山の奇勝は、滿洲第一の稱あり。湯崗子より我四里にして、石橋子の小村に達す、この間は道路惡しと雖も平坦なり、馬車を通ず。これより約我一里小徑を踰え千山に達す。千山は海拔約千八百尺、花崗岩より成り、我瀨戶內海の諸山の如し。然れども水に乏し。唯奇岩擢立せると、松樹の蒼古たるは、小豆島と比埒して餘あり。素より朝鮮金剛山の如き壯大の奇勝にあらず。金剛山の勝景は、先生の彩筆により、世人の知る所となり、小生も明年は一遊せんと期待致候。唯滿洲に於ては千山を巨擘となさゞるべからず。山中梨樹頗る多し、惜むらくば期既に遲く、霜葉の美を缺けり。然れども千巖の巨嵩と四時に通せる蒼翠は決して小生をして失望せしめず。（未完）……（十月三十日天草に於て）……

## 即位大禮祝賀篇

無佛翁大詞伯 斤正

經農 權重顯拜稿

呼戲富士極天岐、東海崑崙世所認、出地一萬三千尺、獨峰特峙之鎭、國土奇氣磅礴鍾地靈、神武聖神帝出震、二千五百廿八禩、一百二十三葉、承帝系一姓萬世、明治先王德配天、乃文乃武哲且睿、功成者去、民憫哭鼎湖龍、序順賢兄帝紹明、今皇元良嗣曆服、萬邦以貞、元典憤、不徳不忘率由舊章、孝子不匱、永錫胤、令昇嗣服、大正四年十一月、即位大禮吉日趁、賢所神鏡劔與璽、至尊親捧務暫摺、武士翼齊勇威、伶官鼓鉦作號信、垂作之、拓纊文物來衣冠、友邦使節獻琛、賭瑞日當中、櫻橘庭旂旄、刻成、紫宸殿上高御座、玉軸琅琅迭、命曦、阿衡楓陛述勅詞、綸綍一堕、趨步迅、萬歲嫓下山、呼聲有口齊、和海岳振、儀式恭遵登極令、折衷東西更加潤、清廟宋瑟供神樂、一唱三歎禮以備、悠紀主基大嘗祭、地方楽盛人選遼、國願升平休征戰、歲新豐發無饑饉、聞匠分井井靡數例、四百八十郎、銀花土梳陪珍錯、白黑清醴三回酳、一迷再召饗夜會、歐米京征列交友、如准如祗酒兼肴、記念菓盒方如印、自衛踴躍參週列、咫尺寶掛耿光觀、泰山黃河無窮祝、百拜稽首雙擊進

## 日報歌壇

□源語 京城 古都子

黑に紅刺繍麻の葉の裕したるよき娘に逢ひぬうす雪の町

いと白き我が大理石の人像も冷めたからまし少し雪散る

冬來る今宵淋しもきみ思ひ默して灰に字を書きてゐぬ

夜の風は疎らになりし木立吹きわが頰冷え〳〵打撫でて行く

□ 金泉 忘れな草

自粉をぬれば冷たく初冬の氣のしみ〳〵ご沁み入りにけり

無花果に青き果一つ殘りて氷雨しほ〳〵降りにけらずや

□親婦 英夫

山高帽を買ひに行くとてM君は手のひら打ちて出で行きにけり

M君は唯嬉しげに語るなり爪嚙む癖も忘れてあるか

## 日報俳壇

雉子郎選

蘆の花

醫師迎ふ提路に舟や蘆の花　韮城

堤行けば穗蘆戰ぎて四ツ手哉　同

水明り花蘆に暗さ萠し來ぬ　沛子

夢醒めし舟の夕や蘆の花　雲帝

●各省經費決定 支那政府は變に各省に特電を發して警政の情形並に整理年度豫算の報告を求めたるが……東三省、直隷、山東、河南、安徽、浙江、福建、湖南、雲南、百萬元吉林、黑龍江、山西、江西、八十萬元陝西、貴州、甘肅……ろが其の內容を聞くに今や帝政改革に際し諸經費に平常より約二割を增加し而かも將來繼續す可きにより……送付す可き協款が定額に達せしや否や、收入稅賦の總額及び昨年との比較、財政整理の期日內に實行せしや否や……

……する者日毎に激增し京都驛並に二條驛は昨今之が輸送に忙殺され居れり。三日京都驛に下車せる團體の主なるは富山高女生二百六十五名、外五十餘團體の總人員約八千名にて四日は鳥羽商船生二百五十名外三十八團體入洛したり（京都）


公示第四號

大正四年十二月十五日京城商業會議所評議員選擧ヲ行フ其時間、場所、選擧スヘキ評議員數左ノ如シ

一、選擧ノ時間
一級選擧人ノ投票時間 午後二時半ヨリ同四時マデ
二級選擧人ノ投票時間 午前九時ヨリ午後一時マデ

二、選擧ノ場所 京城府本町二丁目京城商業會議所

三、選擧スヘキ內地人、朝鮮人評議員數
一級評議員 內地人 拾貳名 朝鮮人 參名
二級評議員 內地人 拾貳名 朝鮮人 參名

四、注意 選擧ニ關スル詳細ノ事項ハ各會員ニ配布セル評議員選擧人心得ヲ熟覽セラルヘシ

大正四年十二月六日
京城商業會議所評議員選擧委員長

# 銃獵之趣味

見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人＝朝鮮の獵地を知らんとする人

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり過は其の銃器を悉知せざるが爲なり

本書は銃器の如何なるかを說き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり

獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地を敎へたる處始めてスポーツマンたらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價金四十錢

發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

第十七回決算報告（自大正五年四月至同九月）

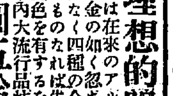
| | |
|---|---|
| 資產ノ部 | |
| 拂込未濟資本金 | 六〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 預ケ金 | 九九〇、參〇六 |
| 貸付金 | 五〇、八參壹、八八〇 |
| 地所建物 | 壹、五參〇、〇〇〇 |
| 流質土地建物 | 參壹、壹七八、〇九〇 |
| 什器 | 武六八、武六〇 |
| 假拂金 | 參武〇、〇〇〇 |
| 金銀 | 武、七五〇、壹五七 |
| 合計 | 壹四七、八六八、六九參 |
| 負債ノ部 | |
| 資本金 | 壹〇〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 積立金 | 四、八八武、〇〇〇 |
| 借入金 | 參九、四九〇、〇〇〇 |
| 未拂配當金 | 四八參、五〇〇 |
| 當半期益金 | 八七四、四四〇 |
| 前半期繰越金 | 六六〇、七五參 |
| 假受金 | 壹、四七八、〇〇〇 |
| 合計 | 壹四七、八六八、六九參 |

右之通ニ候也

日韓殖產株式會社

取締役 喰田勇八
同 松村時次
同 內藤正義
同 深水清
同 古庄稻
監查役 林千八
同 平野時大
同 生駒直

右調查ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也



◎十二金用代 理想的眼鏡

本品は在來のアルミ金又は鍍金の如く忽ち變色するものなく四種の合金より成るものなれば先天的二十金色を有するを以て目下市內大流行品特價箱入 壹圓五拾錢 賣價撰金

中特に景品として同一用 メタル一個進呈（送料不用）

質製 にて申込は引替小包にて急送す

東京日本橋區蠣殼町二ノ十六番地 芳美堂支店 電話浪花四三六 振替口座三〇七四一

宮內省御用品本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部には(SWAN)の英字刻印御檢せ可

到る所の文具店に目下競爭販賣中買ふ人の爲な時最寄販賣店に御用命を乞ふ目錄無代進呈

大阪平野町二丁目スワン大阪出張所

朝鮮在住內地人の諸君是非御一讀を乞ふ

御大典記念實業之世界臨時增刊

# 大日本帝國新領土發展號

大典記念出版中の大偉觀 堂々六百ページ 金八十錢 送料六錢

■實業家、紳士、政治家、銀行會社商店は必ず本書を備へよ

■朝鮮、臺灣、滿洲、蒙古、樺太の過去、現在、將來の狀態一切は此一卷中にあり

■新領土及び海外に事業金儲を爲さんとする人は本書を讀め

■本書を讀まぬ人は自分の財產を知らぬと同一

■發行所 東京市麴町區有樂町 振替口座東京三四三三 實業之世界社 ● 書店に賣り切れの時は直ちに本社に申込め送本す

## ○清室の袁帝勸進表提出

政府は前清皇室との間に帝政後の打合せ略纏まり前攝政醇親王は前清朝を代表し袁總統に即位勸進表を提出することとなり近々倫貝子を派し袁氏に送遞すべしと（北京特電）

## ○投票確定

中央國民代表大會は十日國體解決投票を行ふに確定したり（北京特電）

## ○獨逸砲兵沈默

巴里來電五日發表の公報に依ればロムパートザイドの南方に於て獨軍が奇襲に依りて獲得せる地は佛軍の奪還する所となれり地雷及び擲彈戰は全戰線に亘りて行はれ佛軍はスワソンを砲擊して獨逸砲兵を沈默せしめたり（倫敦電報）

## ○駐米獨武官醜事

華盛頓來電に依れば米國國務卿ランシング氏は駐米獨逸大使ベルンストルフ伯に對し同大使館附武官ボイト大佐はハンブルグ亞米利加汽船會社事件に關係あるを以て同會社の高級社員四名が米國の中立法規を無視して獨逸軍艦に物資の供給を行ひ有罪の宣告を受けたる今日に於ては同大佐も確かに罪人なりと通告せりと（倫敦電報）

## ○輸出制限反對運動　中立國に對する

英國政府要求の大連より歐洲中立國仕向け大豆、豆油の輸出制限は滿洲特產物油房工業大連輸出貿易に大打擊を與ふ大問題なるを以て大連商業會議所は愼重研究の結果四日要求反對の理由書を添へ外務大臣關東都督宛英國の右要求を拒絕せんことを電報にて請願せり反對理由書は極めて堂々たるものなり（大連特電）

## ○勅選議員候補

辻男爵薨去に伴ひ現在勅選議員の缺員四名に達したるを以て政府は今議會開會中適當の時機に於て奏請の手續を運ぶ豫定にて目下詮衡中なるが其候補者として前警視總監伊澤多喜男、文部次官福原鐐二郎、內閣書記翰長江木翼の三氏に決すべしと云ふ（東京特電）

## ○兩院守衛長資格問題

貴衆兩院守衛長の資格を奏任に改むるの件は議院法を改正して來年度より實施することに內定し同改正案は來る八日の樞密院會議に諮詢あらせらるべし要するに奏任守衛長問題は議會の情勢上何人もこれを認め居れ

雜報

## ◎時局と朝鮮鑛業界の影響　前途大に發展せん

歐洲戰爭の勃發は從來海外の需要に俟ちたる鑛山用藥品材料の昂騰、火藥類の供給難並に機械類の不著等種々の障礙を惹起し、爲に朝鮮鑛產物の大宗たる金の生產前途に對し危懼を懷かしめたるが其障礙は比較的短期間なりし爲め產額多大なる鑛山に於ては戰爭前よりの豫備貯藏を爲せし關係上影響を蒙る事大ならず、大正三年末に至り漸次恢復の緖に就き、殊に本年に入り內地金鑛製煉事業の發展は却て朝鮮金鑛床の開發を促進し金鑛石移出の激增を齎らし戰爭開始の當初豫想せしが如き不況を招くに至らざりしは慶す可き現象なりとす然れども將來の發展に對する一二重要なる影響を擧ぐれば古河合名會社鎭城金山に於て製煉設備に要する搗鑛機を戰亂前獨逸に注文し、輸送の途中

▲戰亂に遭遇して空しく其到着を俟ちしも遂に所在不明に依り已むを得ず新に內地の製作所に注文せしが如き、又三菱合資會社の兼二浦製作所に要する機械類は獨逸に注文せしも是亦戰亂の爲め更に米國に注文を發せしが如き、孰れも事業開始の期を遲延せしめたる例なきに非らず。又船腹の不足、保險料の昂騰爲替の不通等は土狀黑鉛、亞鉛及び重石の如き專ら歐米向輸出品激減を來し、殊に黑鉛、亞鉛の如き從來主として獨逸及び白耳義に輸出したるものは全然輸出の途杜絕するに至りしが、幾くならずして土狀黑鉛は英米に向け輸出の途開け、又亞鉛は近時內地に於ける三池及び神島兩亞鉛製錬所の發展と軍事上の必要に促され原料鑛物の需要を增加し、重石は軍器製造上重視せらるゝに至りる結果、著しく價格昂進したるを以て此等生產事業は益々好況を呈するに至る可し。而して

▲移出の石炭は殆んど我海艦艇の燃料に供する平壤無煙炭なるが時局に伴ふ我海軍の活動に依り需用を增加したり、又海軍の需用は將來增加の趨向あるを以て之に應せんが爲め明年度よりは從來一箇年十萬噸の採炭力を二十萬噸の採炭力に擴張せむとし五年度の豫算を提出せり、尙ほ鐵は一般內地需用沈滯の爲め增掘を促すに至らず、依然として前年の景況を持續せるに過ぎざるも歐洲戰局の擴大に伴ひ之が需要は益々增進す可し要するに歐洲戰爭は其初めに當りては多大の杞憂を懷かしめたるも今や貿易漸次順調に向ひ殊に戰時の需要益々增進す可きを以て前途益々好況を呈す可し、今大正二年以降に於ける主要鑛物の貿易趨勢を表示せば左の如し

主要鑛物輸移出額

| | 大正二年（圓） | 大正三年（圓） | 大正四年（前年同期） |
|---|---|---|---|
| 金鑛 | 五五二、四〇〇 | 五五九、七三三 | 一、〇三八、五四一 |
| 鐵鑛 | 三四八、五五三 | 四二八、四四四 | 四三九、三九〇 |
| 黑鉛 | 三四八、八六六 | 一九三、一〇七 | 一八三、一七三 |
| 石炭 | 三五七、七七七 | 四四九、一〇四 | 五二〇、三三一 |
| 其他の鑛物 | 一〇八、一九一 | 一三八、七〇三 | 一三五、六〇六 |
| 金貨及金地金 | 九、九三二、五五五 | 一〇、一六四、三六二 | 一〇、一六六、八〇三 |
| 銀貨及銀地銀 | 九〇一、四四六 | 六〇〇、三四八 | 四四一、五四四 |
| 計 | 一三、四九九、八五一 | 一三、五三一、八〇五 | 一三、九八八、三三二 |

備考　大正四年九月以降は其以前の實數の比に依りて推算せるものなり

## ◎滿鐵鑛業近狀　撫順炭の新販路開拓

前報の如く近來世上に傳へらるゝ滿鐵の製鐵業開始は未定不明の事項にして寧ろ研究中なりとするを至當とすべきが鞍山站鐵鑛採掘は日支合辦の形式を以て滿鐵より其の採掘權の許可を北京政府に交涉中なれば早晚許可せらるべく製鐵業の如何は其上にて決すべき問題なり猶ほ鐵鑛運搬の爲め鐵道敷設權を鑛山採掘に附帶せる權利として

▲此れも要求中なれば早晚許可せらるべし是等將來の事は姑く措き現在に於ける滿鐵の鑛業狀態を見るに煙臺炭は近來販路縮少し出炭と相伴はず自然貯炭勝となるを以て先頃其採炭高を縮少したるが來年度は其出炭高を約六萬噸に止め一日の採炭二百噸內外とすべく而して煙臺炭は之を煉炭の原料とし煉炭の販路擴張と共に漸次之を捌きつゝあれば早晚需給の一致を見るに至るべし

▲其の貯炭の販路に就い撫順炭は之を內地に輸出し內地炭と競爭する時は自然外國炭の乘ずる所となるを以て其の輸出方向は專ら事を外に求め南支那上海方面において開平炭との間に旣に販路及び炭價に關して協定を遂げたるが此の方面への輸出量は例年と大差なく今後も格別の增進を見ざるべく一時大に發展を試みんとしたる南洋方面への輸出は運賃高く船の戾り荷なきとの爲め思はしき成績を擧ぐる能はず先づ現狀維持といふ姿なるが

▲獨り朝鮮方面は撫順炭の得意地にして旣に朝鮮鐵道と二十五萬噸の供給契約をなしたれば撫順炭の輸出は主として朝鮮を目途とするものと謂はざる可らず朝鐵以外猶ほ地方販賣用として輸出も漸次增加すべき傾向あり而して本炭の來年度出炭量は大約二百五十萬噸內外なるべく此內輸出せらるゝものは百萬噸內外の程度ならんが滿鐵にては來年度において北滿方面への輸出を開拓せんとて先づ露國の東淸鐵道に對し其の鐵道用燃料に撫順炭を以てせんことを交涉したるに日露の交情從益親密を加へ來れる今日とて同會社にても

▲之を容れんとする模樣あり且此の以外北滿地方の一般燃料をも撫順炭の供給に待たしむる方針にて着々運動中なれば黑龍江にドライノル、スウチヤン等の炭坑あるも到底撫順炭の敵にあらざるを以て北滿一帶に販路を開拓すること敢て難事にあらざるべしと因に此程撫順炭東鄕坑に自然發火を見たるも右は極めて小事故にして採炭上何程の障害にもならざる由なり（大連）

## ◎營林廠の製材業

日韓併合以來朝鮮內各地に於ける諸建築工事の勃興に伴ひ製材の需要著しく膨脹し註文材輻輳の折柄去る明治四十五年三月二十八日新義州製材所第一工場燒失し製材作業上一大打擊を蒙りしに依り取り急ぎ其復舊工事に著手し大正元年十二月竣工せしが嶄新なる製材機械を据付けしを以て製材力は大に增加せり、然れども第二製材工場は右第一工場及び貯木場と相離る約八百米突の地點に在るを以て木材の搬出入及び整理保管上不利益少からざりしか偶々該工場附近の江岸整理の爲め撤去の必要を生じたるに依り大正三年度に於て之を第一工場附近に移轉改築し冗費を節減する計畫を立て大正四年六月竣工し整理節減の目的を遂げりと今併合當時即ち明治四十三年度の製材數と大正三年度の製材比較並に四五兩年度の豫定數を示せば左の如し

| 年度 | 製材 | 賣材 |
|---|---|---|
| 明治四十三年度 | 三一、六六三尺〆 | 一四〇、五六六尺〆 |
| 大正三年度 | 三八、八六六　一〇四、一九四本 | 一三三、八四一 |
| 大正四年度 | 一七、〇〇〇 | 一八、〇〇〇 |
| 大正五年度 | 一七、〇〇〇 | 一八、〇〇〇 |

因に龍山及び龍岩浦以下洞中江鎭の各出張所に於て手挽又は請負に附して多少の製材を爲したるものあるも便宜上茲に加算したり

## ◎去月京城貿易　入超七十二萬圓

十一月中に於ける京城貿易額は輸移出品價十七萬五千六百三十圓、輸移入品價九十萬七百十二圓にして結局七十二萬五千八十二圓の入超を示せり、輸移出中の主なるものは大麥及び小麥四千四百九圓、牛皮十三萬二千三百六十二圓、煙草一千三百八十四圓等にして輸移入主要品は生金巾類十一萬四千九百四十五圓、紙四万三千百二十八圓、淸酒二萬七千九百十八圓、砂糖二萬七千八百八十八圓、果實及び核子二万四千二百七十三圓、諸機械類二万一千四百九圓、煙草二萬二千二百五十九圓等なり

## ◎大阪歲末資金

去月中には日銀支店の預金に於て千三四百萬圓の異動を示し其純消化額約千萬圓と註上さる程にして何時になき動き方なりしが之には株式市場の沸騰に伴ふ資金需要等の與る所頗る大なりと察せられ而して株式市場の沸騰は今の處殆ど沈靜の模樣なきを以て此方面の資金需要は益々增加すとも減少する事なかるべく且つ最近米價も著しく昂騰して之に伴うて古米の出廻りも相當額を算し之に要する資金も餘ほどの增加を來しつゝあれば更に米價の騰貴を告げ新米の出廻り旺盛期に入らば之に對する資金の需要も非常に增加する事となるべく又米穀の出廻りに伴うては地方人の購買力を喚起し正月支度の買物を呼び市中一般の商取引も景氣附き之にも資金の需要を增加すべき傾向なきにしも非ざるも市中銀行は今日迄の金融大緩漫に思はず長期貸出しを增加せる模樣あり若し此の種の貸出し增加し居るに於ては歲末に金融逼迫を起る事ありとも之を回收して逼迫を緩和する事能はざる次第なるが一方昨今の日銀預金は月末貸金の回收を迅速に增加しつゝあれども過る四日には鐵道證券拂込みにて當市より五百萬圓程の資金を奪る事となり日銀預金は左程の增加を來さゞるべく則ち市中銀行の遊金は漸次減少の傾きあるに方り需要は思ひの外に增加せんとしつゝあればよし東京方面に倚賴する事とするも此歲末の金融は意外の緊縮を來さんとの見解多きが如し（大阪）

## ◎共進會の仁川經濟界に及ぼせし影響

二、貸出に關するもの　本年十月末貸出總殘高を前年同月の其に比較するに左の如し

| | 本年十月末殘高 | 前年十月末殘高 |
|---|---|---|
| 定期貸 | 三三一、六七四 | 五九七、九四一 |
| 當座貸越 | 九三、二二一 | 八四、六四六 |
| 割引手形 | 一八八、四〇七 | 二六五、八九八 |
| 約束手形 | 一五五、〇四八 | 一七一、一一五 |
| 合計 | 九八八、三五〇 | 一、一一九、六〇〇 |

是に由て之を觀れば本年十月末殘高は前年同月の其より十三萬一千餘圓增加を來せるも定期貸四萬六千餘圓割引手形七萬七千餘圓約束手形一萬六千餘圓を減少せる也定期貸の減少は舊債券の整理進捗したるに由り割引約束手形に於ける減少は昨春來米價の暴落に地方民の購買力甚しく減殺せられて賣掛金の回收愈困難に從て諸物貨の捌け鈍狀を呈し延て一般經濟界の不況を現出したるに基因せるもの

三、通貨に關するもの　通貨に關する影響は統計的に是を表示する事能はざるも帝國軍艦數隻仁川港碇泊中は食料品の買入海軍々人の送金及び消費したる金額は意想外に莫大なるものありて其通貨の殆んど全部は內地貨を以てせられたるの關係上日本銀行券の回收は朝鮮銀行支店のみに於ても一萬餘圓に上れり其他共進會開催中は通貨の用途上一圓紙幣及び補助貨の流通比較的多く從つて流出增加したりき

要之共進會が金融上に及ぼせる影響は右の如く甚だ尠少にして特記する程の事實にはなしと云ふべし試に仁川に及ぼしたる大體の影響を見聞するに共進會開催中來觀者は當地に永く足を留むるもの少く彼等が當地に散布する金額は豫想外に少額にして寧ろ當地日鮮各種商人が來觀者を目的に各種の設備を爲しが爲めに費したる資金を容易に回收し能はざるものゝ如く加之共進會の爲め市民の費消したる金額亦相當の額に至りたるべく要するに這般共進會の當地日鮮人に及ぼしたる經濟上の影響は寧ろ善良なりとは言ふ可からざるものゝ如し一方地方民が出府散布せる金額の多大に上るべきは衆人の齊しく認むる處而かも其地方民は米價安の影響を受け懷合必しも除裕ありしに非りしに此機に乘じ多少無理算段をなせるものもあるべく今後此等が地方金融に及ぼす可き影響は益々尠少に非ざる可き歟若し其れ彼等が共進會の目的たる產業上の智識を開發し將來に於る產業開發上に與へたる無形の効果に至りては亦た甚大なる可きは誰れしも信じて疑はざる所なりとす（完）

## ◎手形交換額

京城手形交換所に於ける十一月中の交換額は小切手三百二十八萬三千三百七十八圓、送金爲替手形四十一萬三千九百五十六圓、約束手形十七萬四千七十八圓、仕拂命令及び出給命令六十四萬七千六百二十三圓、郵便爲替證書四十萬四千三百一圓、公債券同利札八百二十八圓、雜證書二十九萬五千三百八十四圓、合計五百二十一萬九千五百五十圓にして一月以降の累計は二千四百四萬三千六百二十三圓なり（圓下切捨）

## ◎教育俱樂部改稱

京城教育俱樂部は今回西大門俱樂部と改稱すると共に五日午前十時より會員總會を開き右報告を兼ね親睦會を催せり

## 議會雜觀（二日）

待ち兼ねた第卅七回議會は愈々既電の如く本月一日開院式を擧げたが衆議院では在野黨の方から十日頃迄休會しようと云ひ出したのを與黨の方から打毀したから只さへプリ〳〵して居た處へ▲二日の開會時間が鳴つて廿分經つても議長も與黨も著席せぬ▲事あれかしと手ぐすね引いて待つて居た在野黨の連中眞つ赤になつて一體全體之れは何うした質に怪しからんと其の手の豪傑小川平吉、上埜安太郎、古谷久綱、松田源治の諸傑は元田御大を中心としてムニヤ〳〵▲果せる哉退席々々の聲が起る、假議長を選んで議事を開けと怒鳴る光景は頗る風雲急だ▲處へ斯くとも知らぬ島田議長は岡崎書記官長を從へてヌツクと議長席に現れた▲之はと思つたが兎に角出席議員を調べて開否を定むると宣告して竄ながら小久保喜七君が突嗟に議長と呼んだのに議長は浮かと發言を許したから溜らない之れが騷動の導火線となつた▲得たりや應と小久保君突つ立ち上り『昨日の本會議に於て』とやりかけると議長は急に氣が付て『まだ正式に開會しないから』と差し止める▲小久保君怒るまい事か火の樣になつて『發言を許して置て何故に差止める、其れとも只今の發言許可は誤りか、誤りなら誤りと仰しやい、何うだ〳〵』と肉薄すると政友會からは盛に野次の應援がある▲島田議長は受け流して『出席議員の數を調べて開否を宣告します』と一二三四で數へて見ると三分の一に充たないから其れを宣告すると政友會は益々躍鬼となつて騷ぐ其處へ福田又一君が何時の間にか飛び込んで來て此の騷ぎにアタフタして居ると齋藤珪次君が『開ないものを何故開いた』と怒鳴る▲斯なつては破れかぶれ大將討たすなと福田君矢面に立つて『開けぬものが開けるか』とやり返したので愈々大騷ぎ抵軍奮鬪の處へ竹內作平君が來ると之れもほう〳〵の目に逢つた▲議長も手が付けられず取り敢へず休憩を宣告すると云ふ大滑稽で議長は引込む野黨は意地になつて挺でこねても動かばこそはやり男の面々は早や議長室に押し掛けると云ふ騷動▲やつと開會すると野添宗三君待つて居ましたと許りに仁王立となり議長▲『議事を未だ開かぬのに休憩を宣告したのは何故だ』と敦圍くと議長は長谷場議長の時にもと逃げ▲次に議長と呼んで突つ起つたのは廣岡宇一郎君議長不信任の緊急動議をかつぎ出す野黨側からは贊成々々▲大董子になつて戰つて居た福田又一君茲を先途と不贊成々々で防戰する▲斯る時に何等猶豫すべき出なければ氣の濟まぬ淸水市太郎君『政黨政派の問題ぢやない』と怒鳴る大混亂の結果廣田君の動議は採決の結果否決となつて當日の騷動も之れでお仕舞となつた目出度し〳〵

○袁皇帝登極は舊正月

北京來電に據れば各省より總督府に來れる電報の印刷物は總て袁大皇…

らるゝに內定し居れり（奉天）

○支那議員選擧賄賂公行

○大阪高松間廿錢　汽船競爭益々激甚

汽船主の間に奔走して調停を試むるものあるも元來此の競爭は種々蟠まれる事情に起因せるを以て孰れも容…

如き商船側の大々的割引に對し尼崎側は三十錢に引下しが其內容は船賃四錢、問屋口錢五錢夕飯代六錢合計…

▲更に諸入費を加へて二十錢と云ふ實費の引下げを斷行したる爲め競爭は全然脫線の狀況を呈す

は約四百名以上に達し…の盛況を極めつゝあり（大阪）

各國時計　自轉車　蓄音器
直輸入卸商　京城黃金町二丁目（電話一〇一五番）　喜多金光堂　振替口座七八二番

自轉車　半價提供
大英國最新式輕快堅固　全各國紳士實業家間に賞讚歡迎せられ飛ぶが如くに賣行
體裁優美頑丈なる
しかも遞信陸軍御用活動車『コスタープレーキ』附カバンス
バナ、ベル、ポンプ、耐久力保險タイヤ其他全部附屬全回轉
本店が東洋總代理店契約大活躍の第一歩として
實物御試乘を仰がん爲め朝鮮全土に參拾輛限り壹輛
特價提供出荷申込順代金引替便內金五圓前送の事
▲イーグル號　特價壹輛金貳拾七圓
大阪市西區九條中通三丁目
振替口座大阪二九九四三番　平井祥次郎本店

謹告
今般左記の處に於て辯護士業務に從事致候間此段謹告仕候
大正四年十二月
京城旭町二丁目十番地（原勝一氏邸跡）
辯護士　法學士　三浦顯藏　電話二二三七番

農業世界　十二月號
佐藤農學博士の『土地に復歸せよ』を始め諸大家の卓論、實際家の經驗談等何れも農事關係者必讀記事滿載
定價二十錢郵稅二錢（前金六冊一圓十六錢　一ヶ年二圓三十錢）
東京本町　博文館

名刺用紙　製造發賣元
大阪明田鐵工所製印刷機械販賣代理店
大阪原田商店製各種インキ特約販賣店
京城長谷川町七四
印刷材料一式販賣　近澤茂平商店　電話二七五番　振替二三三番
定價表見本無代進呈

年賀用名刺はがき　印刷御需メニ應ズ
價格のことは申さず物品を以て價格を定むるが弊店の特色に候各位多少に不拘御注文被下度候
京城明治町二丁目（元曙町）
下川活版印刷所　電話二八五九番

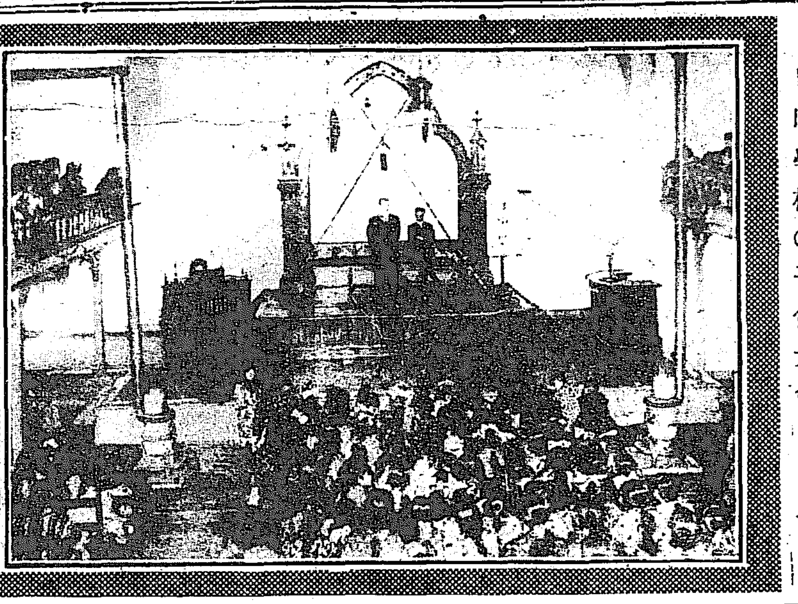
內科　小兒科　入院隨意
京城明治町（元善隣學校跡）
中島醫院　電話三七八番
院長　中島貞信

美顏術
最新白色法及脫毛術
美顏と毛に就ての信用は世間の知る處尙院長渡歐の際英佛等の研究に於て獨特の長所を實地に美れる下記藥品の說明書送料を要す
最新白色料にきび及しみそばかすの美顏料やせる藥
優良なる毛生劑脫毛材料
ちゞれ毛くせ毛直し等
院長自ら造られたる最良の白粉下白粉洗粉髮油迄美顏材料貯藏豐富
神田區駿河臺袋町九番　電話本局二七七一番
東京美容院

…備の爲修理せられ何時にても中華帝國を象る手配り成れり投票の結果發表期は一月元旦にして即位式は舊正月に擧行せ

下各地に選擧運動起り湖南最も激烈にして賄賂公行せり政府は各省に取締方を命せしかば武昌巡按使は先月廿六日布告を出し之を厳禁せるも投票の賣買尙は盛に行はる(上海特電)

他の航路に對する賃金の引下げ競爭は以來益々激甚を加へ底止する所を知らざる形勢に在りて頃日有志は各
▲到底其奔走も無効に歸するの外なく同時に之れが終熄期も豫知し難き模樣にて現に大阪商松間の船主の賃收入は僅々十五…に過ぎず然るに一面攝陽側は商船及び尼崎の戰備に應戰の必要上今回…は非常の便宜を受け大阪商松間の乘客は競爭開始後の乘客は逐日增加を示し平均一日商船側は約九百名尼崎側



日曜學校の子供大會

## ●靑木中尉の光榮
### 侍從武官をして下賜品を傳達せしめらる

四日觀艦式當日轉覆したるフ式一號の同乘者靑木中尉は無慘の死を遂げたるが操縱者多田大尉は幸ひに一命を取り止めたり靑木中尉の遺骸は昨夜追濱飛行場に送り金子少佐以下一同通夜したるが五日午前零時東京より侍從武官松村海軍大佐は陛下の御下賜品を捧持して來著中尉の靈前に供へたり又同時に鎭守府木村參謀長も同じく弔問の爲め來れり(東京特電)

## ●六百の子供達が
### 何れもニコ〱と大喜び

京城龍山の基督教日曜學校六校は五日の日曜午後二時より長谷川町日本基督敎會に聯合子供大會の集りを催ふした、何分にも

■無邪氣な少年少女許りの樂しい集りとて已に定刻前から紺がすりの坊ちやんや紅いリボンのお孃さんなどニコ〱もの丶大喜びであつた、尙は此の日の世話方には井口牧師を始め各敎會の牧師さん達並びに子供達の父兄なども尠なからず來賓には外國婦人の姿も見えて居たが軈て定刻二時過ぎともなるや會員一同の可愛らしい讃美歌に次で祈禱が始まり何れも

■お行儀よく控へて居る處へ今度は藤井氏のお話に次で渡邊久吉氏のコルネットあり和田正彦氏の桃太郎の歌、山本到氏のお話お猿さんなども大喝采を博し猶ほ丹羽氏のハーモニカ吹奏、メソヂスト敎會日曜學校敎員の合唱などもとり〱に面白く又星野氏のお話怪物屋敷に次でスミス氏の獨唱、橋本氏のお話火中の三靑年あり猶ほ一番お終ひに會員一同の讃美歌合唱があつて午後四時散會した

## ●盛んな今年の基督降誕祭
### 各教會で準備中

十二月に入りて先ず思出すはクリスマスだ從來は單に基督教會か若くは其の關係せる學校の年中行事であつたが近頃は殆んど世間一般にクリスマスの贈答を行ふやうになり本町邊の明治屋、龜屋、靑木堂、三越等の西洋雜貨又は食料店では年々クリスマス用の贈答品が飾られ府内に在る千人近い基督敎徒の家庭との交際に用ひらるゝ樣になつた、其クリスマスも兩三年打續いた諒闇の爲極めて質素の祀に催されたが今年は御大典擧行の芽出度き年にもあり且つは又二年間日曜學校の子供達に充分の滿足を與へ得なかつた埋め合せに何れの教會も盛んにクリスマスを祝することとなり早きは十月頃より遲きも本月匆々から準備に著手して日曜の午後は其豫習に忙しい最も中には歐洲の戰亂に際し交戰國のお友達が樂しいクリスマスをもお祝ひ出來ぬに同情して餘り多くもない若干の寄附金中より一部を割いて贈りたいと云ふ頗る可憐い心掛のもあるこんな子供こそサンタクロースのお爺さんから澤山なお土産を貰ふのであらう

## ●問題の印度人上陸
### 神戸の警察官憲極力搜査中

三日午後零時卅分神戶入港の英船ボリネシアン號にて三名の印度人上陸其内二名は問題の印度人と知れたるより警官憲兵聯合にてオリエンタル、東亞、グランドホテル等外人の宿泊所を極力搜査中なるも未だ何等の手掛りすらなし(大阪特電)

## ●姦婦死刑

江原道洪川郡陽石面豊岩里酒商朴仁順(三九)は約十年前居里の李鳴玉なる者に嫁し同棲中昨年舊九月頃より居洞に出稼し來り居る忠南堤川郡生れの朴致化なる者と姦通し居りしこと本夫に發見され本年七月九日痛く叱責を受けたるより本夫を殺害せんと同夜半零時頃夫が咽喉の渴くより同女に水を持來るべく命じたる際此機逸すべからずとなし豫て準備しありたる苛性曹達の水に溶きあるものを侑め同人は之を全部嚥下したる爲め直ちに苦痛甚しく起り此は毒殺を受けたるものなりと信じ自ら南方山坂を踰え十二三町ある實兄李鳴善方に赴かんとしたるより仁順は之を追跡したり然るに鳴玉は山坂に差蒐りたる際苦痛に耐え兼ね路傍の松木に凭れ居りたるを見て不敵なる同女は自分の腰部に纏ひ居りたる眞田紐を解きて李鳴玉の背部より頸部と松木とを合せて縛し力を極めて締めつけたるより同人は即時絞殺さるゝに至りたる殺人事件は十月三十日京城地方法院に於て死刑の宣告を受けたるを覆審法院に控訴したる所十二月三日控訴棄却となり前同樣死刑の判決となりたり

## ●餅搗の季節が近づいた
### 餅米は昨年に比し升で三錢高い

師走に入ると共に迫々正月餅の準備が要る時期となつた、今年は糯米の値段が騰貴し目下の相場は

■一升十九錢を唱へて居るから昨年の十六錢に較べると一升で約三錢方も高値となつた譯である、市内の餅屋では最早や群山に出掛けて歲末の用意米を購び込むだ向きもあるが相場は此の氣配ならば上るとも下る氣配はなからうと言ふ、糯米の最も良いのは水原米が第一で次ぎは鎭南浦米、群山米も惡くない、糯米の良い惡いは第一搗あげてからの餅の光澤でも分るが目方は普通上米一升の搗きあげて五百二三十匁下等米で四百七八十匁のものである、其處で一般の賃搗餅屋では一升平均五百匁で渡して居るがこれも搗き方によつて餘程

■良惡の差が出來る、何分にも日本古來の習慣として什麽貧乏人でもお正月の餅を搗かぬ者はないが京城は殊に關西の人が多いから自分の家に餅屋をよんで頗る威勢よく緣儀よく搗かせる向きが多いといふ、總督邸では毎年餅屋から搗いて納めることになつて居るが山縣政務總監邸では毎年本町の高砂餅が長州流の餅搗を始めるのが恒例となつて居る、其他賑かな餅搗きは一般の料理屋又は寄席劇場などでやるのが多く、これは囃子入りの大騷ぎでやるのは何處も同じ慣例である、又正月餅の賃搗きは市内七八軒の專門餅屋は素より結氷期の冬籠りに居る大工さんや左官さんの

■素人賃搗きが多くなる、搗き賃は餅屋組合の規定は一升七錢であるがこれは表向きの値段で普通一升五錢乃至六錢で搗く、餅し餅屋が如何に奮發しても黎明から深夜まで一日四石の餅がせい〱であるからこれに平均八名の人夫と四駄の薪と竈、釜、臼などの入費をかけると餘り棚からぼたもちの儲けにもならぬといふ、兎に角今年は搗き賃共に

■一升廿五錢の餅代を要する次第で賃搗きは此の月の中旬から廿日過ぎにかけて夜に日をついで忙がしくなる

## ●信玄袋から艶めかしい衣類

仁川花房町派出所の會田巡査が去月二十七日午後十二時頃仁川驛構内警邏中折柄著せる終列車より下車せる縞の羽織袴を著したる年頃十七八の學生風を裝へる少年が大信玄袋を携へて下車し驛前菊屋旅館に投宿せる擧動に不審の廉ありと認め同行取調ぶるに本人は原籍長崎縣嚴原郡丸山町生れ當時住所不定の秋山龍生(一八)と云ひ果せる哉信玄袋内より女の衣類女の腰卷其他贓品らしき數々を發見したるを以て有無を云はさず詰問したるに包み切れず前記犯罪を自白に及べり本人は本年三月頃放蕩の果渡鮮し北鮮地方を流浪して各地に於て窃盜詐欺を働き客月二十日頃永登浦に舞ひ込み同地志賀惣方に小僧に住込み同月二十五日迄に數回に同地福島仁三郎方に至り志賀の使なりとて金十餘圓を騙取し二十七日夜志賀方家人の隙を窺ひ衣類銀側懷中時計雜品三十三圓相當の物を窃取して逃走同夜午後十時四十四分仁川行列車に搭乘下仁し投宿せんとする處を怪まれて捕はれ四日檢事分局に送らる

## ●安東縣遊廓の硝酸情死

安東縣三番通貸座敷梅の家抱へ酌婦藤井事香川縣生れ原さだ(二九)は新義州料理店長龍庵の板場を勤め居る神奈川縣生れ木田竹藏(三八)なる男と是迄前後數回の馴染を重ね仲なるが竹藏は去る三日夜も例の如く登樓し藤の井を敵娼に酒肴を命じて幾何かの散財を爲し兩人寢床に入る迄は別に何等の怪しき擧動もなかりしに四日午前四時頃前記兩人は同意の上何處より求めしものか豫ねて竹藏が携へ來れる工業用硝酸を多量に呷ぎ情死を企てたるにぞ何かは以て堪る可き兩人共苦悶輾轉し居る處を約三十分間も程經たる後家人が之を發見し甚に樓内上を下への大騷ぎとなり早速其筋へ訴出でたるより係官醫師急行の上即時兩人共滿鐵醫院に收容手當を施せるも時みくれ女は遂に同日正午頃死亡し男も亦虫の息にて到底生命覺束なし(安東縣)

## ●自轉車幼稚園生徒を轢倒す

京城本町一丁目二十六番地宮崎方地先路上に於て二日午後五時二十分頃山口縣玖珂郡鳴戶村當時龍山漢江通百十一番地居南大門驛々夫高村忠雄(二一)が驛務を帶び南大門停車場より大和町に向ふ途中自轉車にて前記交通頻繁の場所を疾驅したる爲め通行し蒐りたる某に車臨を衝突し急に之を避けんとしたるに折柄通行の熊本縣天草郡鳴子村木町一丁目履物商宮崎方の長男幼稚園生徒宮崎邦雄(七)に衝突して同人を轢き仆し右脚前膊に負傷せしむるに至り全治迄に一箇月を要する創傷を負はしめ目下入院加療中なり右につき驛よりは被害者に對し交涉する所あり一日治療費二圓五十錢を一箇月間支給し尙ほ他にも手當を施す約束にて妥協したるが時節柄本町筋の如きは自轉車乘及び一般通行者共注意すべき事ともなり

初冬小品(七) 襟卷 ―― 石川寅造

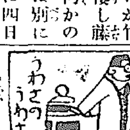
## ●洋傘を覘ふ曲者

黄海道長淵郡邑内生れ前科五犯李順榮(三四)は一定の住所なく京城に流れ來り本年九月十日午前十時頃長谷川町四十一番地廣安某方玄關にありたる洋傘一本(價一圓五十錢)を窃取したるを手始めに同月十五日夕旭町二丁目二番地上池某方の玄關にありたる女持洋傘一本(價一圓六十錢)を窃取し尙ほ同月二十日午後七時頃長谷川町西池某方の臺所にありたる同人の洋傘一本(六十錢)二十一日午前十時半頃

旭町一丁目大工職伊藤某が太平町邊藤將油店橫路次にて作業中隙を覗ひ同人の曲尺一個(一圓)を窃取し逃走したる際同人に取押へられ本町署に引渡され三日京城地方法院にて懲役一年六月の判決を受けたり

◎蓄音器の新音譜 これからが蓄音器の季節で冬季時の家庭娛樂用としては蓄音器以上のものは先づなからう、京城本町の日本蓄音器商會にては既に冬期新音譜數十種到著して居るが中には國分吝技なるものもあるが最近兒童教育家の一部には…

◎歲末のますや吳服店 本町一丁目ますや吳服店にては一日より月末迄例年の通り賣出しを始め金券福引に抽籤券等を添へつゝあるが景品には桐箪笥、羅紗外套毛布御召其他數千點多大の好人氣なり




▲選擧となると平素の知己も友人も敵味方と利害關係を異にすると見え ▲途中で行逢つても何處へ『イヤ一寸其處迄』位のそつけない挨拶で仲々其所を吐かぬ其がさうしてお互に地盤の切崩し合ひなんだから油斷も隙もあつたもんぢやない ▲時節柄だけに京城の實業家の行動に就ては何れも眼を皿の樣にして見張つて居る ▲四日の如きも天日常次郎君が商用のため車を驅らせて居ると ▲是れを目擊した候補者の一人ハヽア行つて居るな……』▲商賈人の不景氣と料理屋のあきまへんは口癖だが ▲今年は餘程好人氣と見えて如何ですと諸くとお陰樣でばツ〱と云ふ ▲やつぱり共進會の影響らしい ▲南山町の南山旅館の電話番號の木票には電話二八四六番とある ▲而かもそれが堂々たる塗板で頗る御念の入つたものだ ▲例の演藝場問題の中心になつてる浪華亭の三太愈々渡はならぬと聞いたその夜何と考へてか業腹で堪らず熟々考へた揚句が一件の決議となつたところでその文句の起草が大變、宵の内から一間に閉ぢ籠り有丈の智慧を絞つて四苦八苦、字引と首つ引の見付も外聞も白痴が落し物でもしたやうに天上と睨めツこをしながら二番雞が鳴く三時過ぎに書き上げたのがこれぞ即ち當世辨慶勸進帳ともいふべき決議文 ▲卷紙に三尺もあらうといふもの、四日の劵番の集會でこれを取出し高らかにこそは讀上げて置いて凄い眼付で列座の若い藝者を見廻しながら ▲皆さんこれでも活動寫眞を觀に行きますかツ――一同縮み上つてウ、ヘヘッ決して―― ▲その決議文は意味は十分徹つてゐるが用字法は可なり酷い、文句中の『交涉且つ權力』が變なところへ『絕對』が馬鹿に多く終りの『妓員を選擧し』に至つては珍の極だとの評判


◎毛布購求者に告ぐ 大阪市東區上本町五丁目東洋商會にては今回防寒並に旅行用鼠毛布極上大判二枚續き一組一圓九十錢同特別最優等一組二圓八十錢白毛布極上大判二枚續一組二圓八十錢同特別最優等一組參圓九十錢(ラクダ)毛布特別大判二枚續一組四圓五十錢と云ふ破格の大廉賣に十八金色の御大典記念徽章(桐箱入)を壹組に壹個宛景品として相添へ投資を始めたが同商會は地方の顧客に特に便利を圖り大盛況を博しつゝ有因に同商會品は前代未曾有の安値と品質の善良とにてハガキで申込めば代金引替小包料は當方で送附し尙信用と責任を重んじ買取後意に適せざる時は無割引他品交換又は返金するなれば地方の人は安心して注文するを得べし

新刊書御案内
滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 定價金一圓 郵稅金十錢
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番
人間と自然 大町桂月 一〇〇
最近の自然科學 田邊元 一〇〇
珍しい自然界の現象 橫山又次郎 一〇〇
青年立志の教訓 土屋元作 一九〇
三宅雪嶺青年訓 雪嶺文庫 一〇〇
乃木大將學生訓 渡邊吉治 一〇〇
實用諸算法 石橋絢彦 一一五
社會的個人主義 大杉榮 九〇
人心收攬術 川崎正雄 六〇
根氣の世の中 蘆川忠雄 一二〇
原始的民族の秘密講 田崎仁義譯 二〇〇
基督教十講 宮川經輝 一〇〇
公民教育の理論及實際 川本宇之助 一三〇
現行小學校關係法令全集第一卷 六〇
土木工學上卷 松本壽龍 二五〇
簡易製鐵術 向井哲吉 一〇〇
朝鮮名勝詩選 高坡鹽判 一二〇
米穀經濟 出尻裕次郎 六五
店頭裝飾術 清水正巳 一二〇
標準かるた 諸札取扱各 四〇
練習用標準かるた 讀取兼用 六〇
大阪屋號書店 京城本町 電話一〇八六番 振替京城二五七三

京日案内
◎普通 一回金三十錢(無割引)
◎貸家 日本建溫突付三室至極閑靜 南山 管理者 龍山印刷局先 79
◎看護婦募集す 希望者は履歷書携帶來談あれ但し有資格者 仁川寺町電七四 仁川看護婦會 123
◎貸金 官吏會社員の御方へ小口信用秘密融通御一報次第伺上候 大和町三不老湯前橫丁 起木屋 128
◎男女事務員採用 月給十五圓以上 五拾圓の履歷携帶午後七時本人來談 京城本町三の三八 友俠樂部 129
◎番外 一回前金六十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢增

御用 總督府 中樞院 警務總監部 憲兵司令部 用達 引越荷物請負 入力車帳場 一〇組 114
歲暮贈答 平壤名產 玄武栗 京城旭町一丁目 電話一七九四番 玄武堂 109
內科 兒科 胃腸病 呼吸器病 京城本町二丁目元中島病院跡 山田醫院 電話二八八〇番 81
◎質 弊店の特色は秘密を確守し完全なる倉庫の設備有之勉強懇切に取扱申候 南質店 電話一〇九六番 118
乘合自働車 京城明治町 京城發午後二時 春川發午後七時 片道金四圓 春川自働車商會 支配人 松田壽男 120
公證人 山邊勇輔 京城永樂町二丁目十七番地 電話二八四〇番 64
梅毒 肺結核 嘉島崎病院 壽町(本町二丁目右入) 電話二七三六番 87
恩給 年金抵當即時立替 京城永樂町一百四 江州屋 99
ハキモノ 東京大阪京都 最新流行品各種 京城郵便本局前 勉強屋 電話四四四番 126
齒科 專門 齒科醫學士 橋本清次郎 京城南山町三丁目 橋本醫院 電話二九二〇番 125

昨日は遠路の處御會葬を辱ふし難有奉拜謝候 大正四年十二月六日 男 白璧淑男 弟 白璧傑次郎
荆妻玄鶴子儀豫て病氣の處藥石其效を奏せず遂に本月四日「舊十月二十八日」逝去した るに付き此段辱知諸君に及計告候 追而葬式の日時は本月六日午前十時京城府黃昌洞百五十八番地自宅に於て執行す 大正四年十二月四日 夫 玄暎運 父 鄭芝煥
葬具萬般整頓罷在り殊に深き者に專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差間無之候 京城大和町一丁目 大和葬儀舍 電話二〇三八
旭町二丁目(名古屋橋下) 株式會社京城葬儀社 本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候 靈柩馬車の設備有之候 電話一五六七 中河原重吉 井上芳太郎

# 千生瓢（61）

須藤南翠作　筒井年峰畫

## 驍將（一）

大岩山の砦を乗り取つて、玆に本陣を据えた佐久間玄蕃允盛政は、心利きたる旗下の侍士を、八方に遣はして、羽柴方の軍容を斥候させ、己は討取つた首級を實檢した。鬼と稱ばれた大將中川瀬兵衛尉清秀を始め中川小右衛門、同苗淵之助、同苗七兵衛、同苗新十郎、同苗九郎三郎の一家一門より、辻善太夫、古田庄左衛門、同く喜助、市浦六藏等、宗徒の郎等數を盡くして、孰れも勇ましき討死を遂げたのを見て、敵ながらも、天晴義勇の將士ぞと、坐に感涙を催したのであつた。

此等の首級は、一つ〳〵に姓名を錄して、早速使者を立てゝ、柴田修理亮勝家の實檢に備へ、勝軍の狀を其に言上せしめたのである。盛政は拜郷五左衛門久盈、山崎將監正國を招いて、軍議を凝らす處へ、岩崎山に向つた安井左近、德山五兵衛の方から、城の三方を遠卷にして、弓鐵砲の矢戰を始めたといふ注進が來た。

『將監の此手へ廻つたゝめ、味方手薄とはあるまいか。敵は聞えた高山右近ぢや』

盛政は斯う言つて、山路の顏を見た。山路は拜郷に目配せして、

『固より小可案内者おざりまする。御命とあらば罷り向ひまする』

『いや、山路殿は第一の功おざる。暫時人馬を休められい。加勢とあらば拙者承はらう』

拜郷はそれを遮るやうに言つた。

盛政は苦々しげに笑つて、

『五左も休まれい。まだ矢合せぢやよ』と、扈從を呼んで、勝戰の酒宴を命じた。

其處へまた注進が來た。盛政は面前に延いて戰況に耳を傾ける。注進の武士はハツト一揖して、

『戰は勝利おざりまする』

『何、勝利ぢや。何とした、戰ひの模樣詳しう申せ』

盛政が軍扇に力を罩めて、床几から乘り出すと、使者は少しく座を進んで、

『高山右近も聞ゆる弓取おざれば、獨り離れて此處を守るには、恃む所のあるは必定。時刻を移して戰ひに手間取らば、彼の計略に陷らうも測り難い。されば、一しきり弓鐵砲で攻め立て、三方より槍を入れ、一時攻に攻め落さうと、犇々とおつ取卷き、隙間は矢丸を以て攻めておざる。然る處、敵の防戰案の外に激しからず、何か籌策ありげに見えておざるに依つて、暫く槍を控へ、頻りに矢丸を打ちかけ、射かけ、敵の動靜を探つておざりまする。此時當大岩山の砦に火の手揚り、黑烟濛々と立ち騰りまいた。素破や中川の砦が落ちたぞ。鬼と呼ばれた清秀なれば、阿容々々とよも退くまい。鬼神も恐るゝ佐久間殿の、討ち漏らしもなさるまい。味方は既に勝利を得たぞの永攻して笑はれな、懸れ〳〵と鋭く立つて、稍や城近くなつた處に、忽ち棚門眞一文字に押開き、百人餘の弱卒共、降人に出でゝおざりまする』

『合點の往かぬ高山が擧動。味方直に砦を乘つ取つたか』

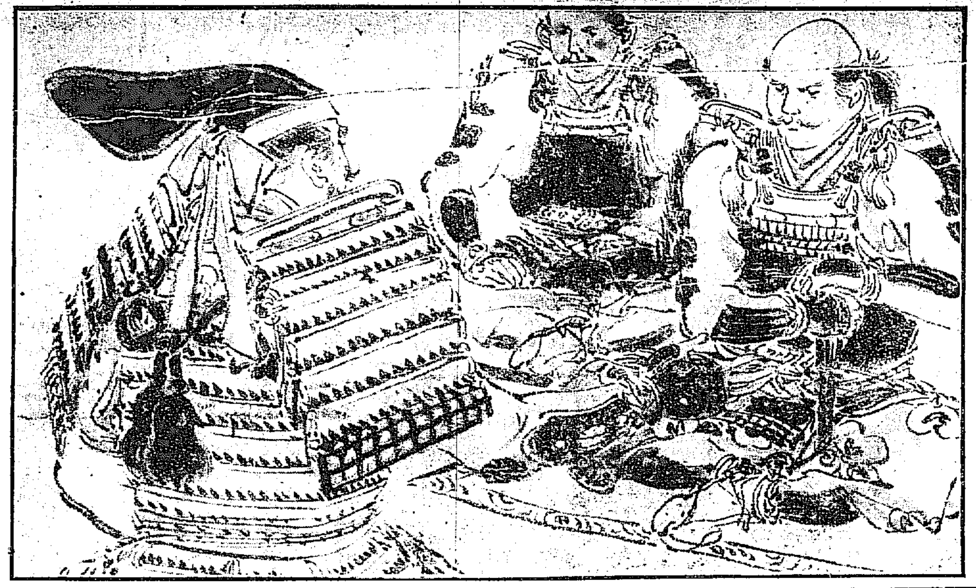
『左ん候ふ。原殿、德山殿、安井殿また堺際へも寄せぬ先なれば、共に不審を抱かれ、降參の兵に就て糺明せられまいた』

『其奴等何と申した』

『事前に賤ケ嶽の本陣より、其處を開いて此方に御入あれと申し越された折は、筑前守かゝる離所をも、守るべき者と見て、預けられた砦おざれば、一寸も退き申すまじとあつて、必定討死の御覺悟と存せられ申した。然るに大岩山の火を御覽じ、また鬨の聲を聞せられて、俄かに城を開かれ、右近深き思慮あつて、暫らく此處を退く、我と思はんものは、續けやと申されて、木本さして落られまいた。我等持口惡く取殘され、斯やうに降參仕つると、詳さに申し立てまいておざりまする』

盛政は仔細に聽き訖つて。

『注進慥に承はつた。其方是れより岩崎に歸陣致いて、安井左近に申さうには、岩崎の儀は原殿、德山殿に御委せあつて、疾う〳〵大岩へ參會あれと、な』と申し付けた。




皮徽科
入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　徽毒病　痳病　膀胱病　生殖器　機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元旭町）
佐藤醫院
（電話一一七三番）



●正月料理　畏古の御大典にて我國特有の古式が萬國に超越して優雅なるは列國使臣の感嘆措かざる所なれば永く日本特有のよき慣習を保存したき希望より枝垣伯夫人令長の東京家政頭なは先づ一部一着に國民として大典第一の新年を迎へしめんと十二月一日發行の正月號には正しき作法及び其料理より新年の方に至るまで儀式作法に則りて説明し毎號冠婚葬祭の各儀式を説明する由目下好評 東京本郷元町 三同會



美人
春夜見あかぬ珍書
表情無限内容云はぬが花！
三錢切手十三枚送れ直送す
大阪市北區東堀川町九
大正堂


●上海外國人數

支那當局最近の調査によると上海に在る外國人數は……

十五年前に比すれば一萬四千六百九十八人の增加なるが中日本最多數を……

| | | |
|---|---|---|
| 瑞典 | 七九 | 七三 |
| 瑞士 | 五五 | 四一 |
| 和蘭 | 三九 | 三一 |
| 波斯 | 一八 | 一一 |

……を徴したるが右復電に依り内、財政兩部は協議の上各省の收支豫算を下の如く決定し……

●地方財政徵奬

北京政府は此度奉天財政廳長に對し……中央經費補助の爲め送付す可き現銀は其の期日迄に送付す可く且つ之れ……有無等を調査すべしといふにありと（奉天）

●大農員の京城

……ものは岡山師範五百名、川上第二小學生二百三十名、大山中學生二百二十名、八尾中學校生五百名、桑名女學生百八十名、……學生百二十名、豐田小學生百三十名


學者の創製したる

# 美顏白粉

名譽の美顏白粉を創製したる
桃谷研究試驗部
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳二氏
專任　藥學士　桃谷幹次郎
　　　千葉藥學士　小磯勝次郎
　　　千葉藥學士　齊藤鉞助

マリールウ井ズ孃

## 名譽の書簡

各宮家御用　女流美顏術大家　マリールウ井ズ孃より

御大典に際し、高貴方の御用を承はりし各宮家御用美顏術大家マリールウ井ズ孃より、左の如き書狀を贈られたり。光榮誠に是に過ぎず、公開して喜びを愛用家各位に頒つ。

### 學者の創製したる美顏白粉の光榮!!

（前略）美顏白粉の優秀なる事、今更ながら切ゝ感じ申候。高貴の方々始め參列の貴夫人方、いづれも殊の外滿足に思召され、妾の技術一層上達せりなどの御言葉もありし程に候。特に嬉しかりしは、香氣の高尙にして、色艷の如何にも自然に美しく附く事と御化粧の永く保つ事にて、十七日夜會の折など、長時間に渉りて殆ど御化粧くづれなく、誠に好都合に大任を果す事を得申候。良き化粧品ほど悅しきものは無之、感謝の餘り一書さし上申候。　拜具

大正四年十一月二十二日　マリールウ井ズ

桃谷研究試驗部　御中

### 生れつき色が白いやうな白さに附く

美顏白粉……其譯は……

一　從來の白粉より遙に色が白いからです。どんな白粉とでも比べて見れば分りますが、同じ白粉と言つても、美顏白粉ほど色の白い白粉はありません。

二　極めて美しい光澤があるからです。既にほんとうの白さがある處へ、此美しい光澤が加はるのですから、美顏白粉のお化粧の色艶は、態とらしい色艶でなく、眞に迫つた色艶が出るのです。

三　被覆力が特に強いからです。被覆力が弱いと白粉のノリやノビも惡く、殊に白粉の色艶を充分に現しませんが、被覆力の強い美顏白粉は、其眞に迫つた色艶の美しさを、其儘お化粧顏に現させます。

四　從來の白粉と比較べて分子が極めて細いからです。白粉の分子は細い程ムラが無く附くものですが美顏白粉の原料には是以上無いといふ分子の細い原料が使つてあります。斯ういふ次第で、美顏白粉は高貴の方々始め、上中流御家庭にぜひ無くてならぬ化粧料と言はれて居りますのです。

2575.288